

文部科学省検定済教科書
高等学校 地理歴史科用

130二宮 地総705

わたしたちの 地理総合

世界から日本へ



世界と日本の今を知る 66テーマの**主題型教科書**

令和5年度用
(2023年度用)

二宮書店
内容解説資料

この資料は、令和5年度
用高等学校教科書の内容
解説資料として一般社
団法人教科書協会「教
科書発行者行動規範」
に則っております

特色・内容紹介 p.2-33

学習者用
デジタル教科書 p.34-35

準拠版 ワークブック
教師用指導書 p.36-41

デジタル教材 p.42-43

年間指導計画
評価規準 p.44-47

二宮書店



わたしたちの地理総合

世界から日本へ

130二宮 地総705
AB版 214頁

【執筆者】

井田 仁康 筑波大学教授	長谷川 直子 お茶の水女子大学准教授
秋本 弘章 獨協大学教授	河合 豊明 品川女子学院中等部・高等部教諭
林 敦子 東京都立江北高等学校教諭	今野 良祐 筑波大学附属坂戸高等学校教諭
後藤 泰彦 千葉県立佐倉高等学校教諭	株式会社 二宮書店
高井 寿文 早稲田大学本庄高等学院教諭	

【編集協力者】

永田 成文 広島修道大学教授	目代 邦康 東北学院大学准教授
渡来 靖 立正大学教授	齋藤 亮次 公文国際学園中等部・高等部教諭
佐藤 博之 明法中学・高等学校教諭	林 靖子 獨協埼玉中学高等学校教諭

Message

どのように教科書は
変わったのか？
—未来志向の地理をめざして

井田 仁康
いだよしやす
筑波大学

必履修化された「地理総合」には、自らが課題を見だし解決していく力が求められています。そのため、本教科書では生徒の課題意識を高めるために、疑問形にした課題を見出しとしています。課題には知識として習得すべきもの、考察するプロセスを問うもの、そして地球的課題として結論が出ない、議論し続けていくものなどがあります。「地理総合」で扱う地球的課題や国際協力、生活圏での防災をはじめとする地域的課題は、必ずしも一つの解答があるわけではなく、地域の特徴に応じて臨機応変に対応することが求められます。そのためには地理としての基礎的な知識、その知識を活用し地理的に考察（思考）していくプロセス、そのプロセスを通して地球的課題や地域的課題に取り組む、といった一連の資質・能力の育成が必要不可欠です。本教科書では、そうした一連の課題を提示しながら学習できるように工夫しました。

地理の学習は、従来の知識習得を主としたものから、前述のような知識を活用し、社会的事象の地理的見方・考え方（思考力）を働かせて、地球的課題や地域的課題に取り組み、持続可能な社会、地球を構築する能力を養うというものになってきました。換言すれば、現状理解の地理から未来志向への地理となってきたのです。本教科書は、知識の習得も大事にし、しっかりとした知識を踏まえた未来志向の地理をめざしています。

なぜすべての高校生が地理総合で
地域調査や防災を学ぶ必要があるのか？

長谷川 直子
はせがわ なおこ
お茶の水女子大学

現代社会は、その変化が急かつ大きく、将来を見通すことが難しい時代であるといわれています。そのような社会に対応できる人材を育成するためには、与えられた問いに正しい答えを返す形の教育だけでは不十分で、予想もつかないような問題に対処する力が求められます。過去の経験が直接的に役に立たないことも多く、自ら考え解決できる力が必要になります。

地域調査には、決められたお題も答えもありません。問題設定から調査方法、解決策まで、高校生自身が主体的に考えて進めていくことを想定しています。地域調査を通して、「自ら問いを立て解決策を考える」といったトレーニングを高校時代にすべての生徒が経験しておくことは、将来社会へ出てさまざまな課題に直面したとき、必ず役に立つものとなるでしょう。

この教科書では、高校生が興味を持ちやすいテーマを事例として扱い、地域の課題を「自分ごと」として捉えられるような工夫を凝らしています。災害大国といわれる日本でどのように生き抜いていくのか。自然環境から人間生活まで扱う地理だからこそ、この課題を丸ごと理解できると考えます。新しくスタートする地理総合を通して、将来、日本社会の生き抜く力が変わることを期待しています。

生徒自ら考え学ぶ 主題型教科書

全66テーマ

1 流れに沿って 理解を促す 主題型展開

主題を設定し、流れに沿って学習を進められるよう、次の二つの展開を工夫しました。
【節の流れ】 各節を、①身近な話題で興味・関心をもたせる導入部の「クローズアップ」、②世界スケールで大観する学習と具体的な地域事例を組み合わせた授業ページ、③学習してきた内容を活かし参加型の探究学習を行う節末の「アクティビティ」で構成しました。
【授業ページの流れ】 1授業1テーマとし、全部で66テーマを設定しました。各テーマは、導入部に生徒に気づきを促す「問いかけ」をおき、続く本文で背景や現状、課題を丁寧に解説、最後の「まとめよう」では、学習の確認や発展的な問いかけを行います。

2 生徒が主体的・能動的に学ぶ 多彩なアクティビティ

- 生徒自らが主体的に、見方・考え方を働かせながら活動する多彩な「アクティビティ」を用意しました。世界の異文化との共生や地球規模で広がる課題について、「自分ごと」として考えさせることで、深い理解を促します。
- 12種類のアクティビティは、生徒個人で行うもの、グループやクラスで行うもの、さらに校外活動を行うものと、学校の状況に応じて探究活動を行えるよう段階的に設定しています。

3 興味を魅きつける 地理ならではの楽しい題材

- 生徒のスマホでも確認できるようGoogleEarth、地理院地図などを取り上げました。世界で活躍する大谷翔平選手や、タピオカドリンク、ドラゴンクエストウォークなど、身近な題材も豊富です。
- 「Topic」「世界の衣・食・住」「私たちにできるSDGs」「日本とのつながり」などのコラムで、生徒に関心の高い話題を数多く取り上げています。

◀地理総合をトータルサポート▶



1章 地図とGISの活用 11テーマ

1節 球面上の世界

- 1 球面上での生活①
- 2 球面上での生活②
- 3 世界地図でとらえる地球

2節 国家の領域と領土問題

- 1 国家の領域と海洋の役割
- 2 日本の位置と領土問題

3節 国内や国家間の結びつき

- ☉クローズアップ
- ▶ 海を渡った日本人をみてみよう
- 1 国家をこえた結びつき
 - 2 観光による結びつき
 - 3 交通・通信による結びつき
 - 4 貿易・物流による結びつき

4節 日常生活のさまざまな地図

- 1 身の回りにあるさまざまな地図
 - 2 地理情報システム(GIS)のしくみと使い方
- ★アクティビティ① 地図の作成 →p.26-27

地理のスキルアップ 全16テーマ

- ① さまざまな統計地図をみてみよう
- ② 階級区分図をつくってみよう
- ③ デジタル地図を使ってみよう →p.28-29
- ④ 地形図で読む地形と生活①
- ⑤ 地形図で読む地形と生活②
- ⑥ 世界の気候区分を大観し、雨温図を描いてみよう
- ⑦ 米と小麦の生産と輸出をみてみよう
- ⑧ 自然条件から農業地域をみてみよう
- ⑨ 人口ピラミッドの読み方 →p.21
- ⑩ 世界でおきている自然災害をみてみよう
- ⑪ 新旧地形図の比較から自然災害のリスクを検証する
- ⑫ 自然災害や地域の特徴を地図からみてみよう
- ⑬ 土砂災害ハザードマップの見方
- ⑭ 津波からの避難の方法を考えよう
- ⑮ インターネットの統計ツールで地域を調べてみよう
- ⑯ デジタル地図で地形と鉄道の変遷をみてみよう

2章 生活文化の多様性と国際理解

1節 自然環境と生活文化

- ☉クローズアップ ▶ 世界の保存食をみてみよう
- 1 地球上の地形のなりたち
 - 2 山地と平野の生活
 - 3 海岸部の生活
 - 4 地球上の気候のなりたち
 - 5 暑い気候に対応した生活 **事例** アフリカ
 - 6 乾燥した気候に対応した生活 **事例** サウジアラビア、モンゴル
 - 7 季節の違いに対応した生活 **事例** 大陸の西岸と東岸
 - 8 寒冷な気候に対応した生活 **事例** シベリア
- ★アクティビティ② フォトランゲージ

2節 産業の発展と生活文化

- ☉クローズアップ ▶ 産業の発展による生活の変化をみてみよう
- 1 農業の地域性 **事例** 南アジア
 - 2 農業と生活文化 **事例** 南アジア
 - 3 工業の地域性
 - 4,5 経済成長による生活の変化①・② **事例** 中国
 - 6 工業化による生活の変化① **事例** 東南アジア
 - 7 工業化による生活の変化② **事例** タイ、ベトナム
- ★アクティビティ③ 統計の読み取り

30テーマ 事例 21

3節 言語・宗教と生活文化

節の流れはP.6~7をご覧ください。

- ☉クローズアップ ▶ 祈りの姿を通して宗教の多様性をみてみよう
- 1 世界の言語 →p.10-11
 - 2 世界の宗教 →p.12-13
 - 3 仏教圏の生活文化 **事例** 仏教
 - 4 キリスト教圏の生活文化 **事例** キリスト教
 - 5,6 イスラーム圏の生活文化①・② **事例** イスラーム
 - 7 世界の多民族・多文化社会 →p.14-15
 - 8 さまざまな社会の形成と生活文化 **事例** ラテンアメリカ
 - 9 多文化社会の実現と生活文化 **事例** オーストラリア
- ★アクティビティ④ ケーススタディ →p.16-17

4節 グローバル化の進展と生活文化

- ☉クローズアップ ▶ Tシャツはどこからくるのか
- 1~3 地域統合による生活文化の変化①~③ **事例** EU
 - 4~6 グローバル化による成長と課題①~③ **事例** アメリカ
- ★アクティビティ⑤ プレゼンテーション

本書で扱っている事例地域



世界・日本について
66の授業ページ
32の事例
12のアクティビティ
で構成しています。

[2章 生活文化の多様性と国際理解] 赤字
[3章 地球的課題と国際協力] 緑字

3章 地球的課題と国際協力 →p.18-19

1節 人口・食料問題

- 1 世界の人口問題 →p.20-21
 - 2 人口が増加した国の課題 **事例** 中国とインド
 - 3 人口が停滞する国の課題 **事例** スウェーデンと日本
 - 4 世界の食料問題
 - 5 人口増加と食料問題 **事例** アフリカ →p.22-23
- ★アクティビティ⑥ ダイヤモンドランキング →p.24-25

2節 居住・都市問題

- 1 世界の居住・都市問題
 - 2 大都市の地域性と課題 **事例** ロンドンとニューヨーク
 - 3 人口が密集する都市の課題 **事例** メキシコシティとジャカルタ
- ★アクティビティ⑦ ディベート

3節 資源・エネルギー問題

- 1 世界の資源・エネルギー
 - 2 エネルギー資源の生産・消費と課題
 - 3 再生可能なエネルギーへの移行
 - 4 鉱産資源の産出と消費 **事例** ロシア、オーストラリア、日本
- ★アクティビティ⑧ ディスカッション

4節 地球環境問題

- 1 地球温暖化の現状と将来
 - 2 熱帯林の減少 **事例** アマゾン、東南アジア
 - 3 砂漠化の進行 **事例** アラル海
- ★アクティビティ⑨ ロールプレイング
★アクティビティ⑩ 因果関係図

15テーマ 事例 8

4章 生活圏の諸課題

10テーマ 事例 3

1節 自然環境と防災

- 1 日本の地形・気候と生活
 - 2 風水害と防災
 - 3 火山の噴火と防災
 - 4 地震・津波と防災
 - 5 都市型災害と防災 →p.30-31
 - 6 防災・減災への心構え
- ★アクティビティ⑪ フィールドワーク

2節 持続可能な地域づくり

- 1 地域調査の実施手順と方法
 - 2~4 地域調査①~③ **事例** 軽井沢 →p.32-33
- ★アクティビティ⑫ インタビュー・取材

導入ページ 学習意欲を高める

章のイントロ クローズアップ

章や節の導入部に、その単元の学習に際し、生徒の興味・関心を高める写真や資料をビジュアル豊かに取り上げ、考察を促します。

クローズアップ 祈りの姿を通して宗教の多様性をみてみよう

「祈る」という行為は、世界各地のさまざまな文化で行われている。世界には色々と異なる祈りの姿がある。宗教は、人々の毎日の暮らしの傍らに、生活習慣や年中行事にも関わっている。世界に広がる祈りの姿として、キリスト教、イスラム教、仏教の祈りの姿をみてみよう。

Question

- キリスト教、イスラム教、仏教の祈りの姿を比べてみよう。
- それぞれの宗教は、どのような環境で多く行われているだろうか。
- 人々の祈りの姿は、どのような環境で多く行われているだろうか。それぞれの祈りの姿は、どのような環境で多く行われているだろうか。

p.88

クローズアップのテーマ (クローズアップは1章3節と2章に設定しています)

章 節	全5テーマ
1章3節 国内と国家間の結びつき	海を渡った日本人
2章1節 自然環境と生活文化	自然環境に合った保存食
2章2節 産業の発展と生活文化	産業の発展による生活の変化
2章3節 言語・宗教と生活文化	祈りの姿からみる宗教の多様性
2章4節 グローバル化の進展と生活文化	Tシャツの原料から販売まで

節の学習の流れを、2章3節「言語・宗教と生活文化」を例にみてみましょう。

導入(クローズアップ)では、各宗教の祈りの姿から、宗教の多様性に着目させます。生徒は写真から、各宗教の違いや生活に与える影響を感じとるでしょう。

授業ページでは、まず世界スケールで「世界の言語」「世界の宗教」を大観し、次に地域事例として「仏教圏」「キリスト教圏」「イスラム圏」などを取り上げています。生活文化が地理的環境からどのような影響を受け、変容し、相互に関連しあっているかなどを、具体的な事例を通して考察します。

節末の実践ページでは、それまでの学習を活かし、主体的・能動的に学ぶアクティビティに取り組みます。この節では、「あいさつ」や「レディーファースト」を例に、自他の文化を尊重し、国際理解を図っていくことの重要性を考えさせます。

授業ページ 世界を大 観し事例で考察する

各節は、世界スケールで大観する学習と、代表的な地域事例の学習をバランスよく組み合わせ構成しています。2章の「自然環境」「産業」「言語・宗教」から、3章の地球的課題へ、地域事例学習の有機的な蓄積により理解が深まります。

世界 各分野について世界スケールで分布や関連性を大観します

世界 各分野について世界スケールで分布や関連性を大観します

2章の国際理解 3章の地球的課題

自然環境	人口・食料問題
産業	居住・都市問題
言語・宗教	資源・エネルギー問題
グローバル化	地球環境問題

p.92

地域事例 地域独自にみられる特徴や変化、課題を考察します

地域事例 地域独自にみられる特徴や変化、課題を考察します

2章3節 事例地域

仏教/キリスト教/イスラム ラテンアメリカ オーストラリア

p.100

実践ページ 個人・グループで探究活動

各節末に、節の学習を発展させるアクティビティを用意しました。自ら主体的に考え、グループで話し合い発表するなど、多彩な手法を設定しています。

実践ページ 個人・グループで探究活動

アクティビティ

ワークシート

p.108

アクティビティの手法とテーマ

手法	全12テーマ	難易度	SDGs目標
地図の作成	自分のまちのフォトマップをつくる	個人	11
フォトランゲージ	住居写真から自然環境への工夫を読む	個人	11 14 15
統計の読み取り	国の産業構造から経済発展を考える	個人	8 9 12
ケーススタディ	習慣の違いから外国人との交流を考える	個人	5 10 16
プレゼンテーション	外国向けのラーメンの商品開発	個人	8 9 12
ダイヤモンドランキング	食料問題への国際協力を考える	個人	1 2 3 6
ディベート	郊外への出店計画の賛否	個人	8 11
ディスカッション	三つの発電政策への考察と討論	個人	7 12
ロールプレイング	越境する環境問題への考察と討論	個人	9 12 13 14
因果関係図	タピオカドリンクでSDGsを考える	個人	17
フィールドワーク	流域を歩き、防災を考える	個人	11 13
インタビュー・取材	地域活性化のための取り組みを考える	個人	8 9 11

個人 作図 読図

グループ 発表 討論 調査

授業の展開例



1 学習のテーマ
タイトルに内容(主題)に直結する問いかけを設定。事例地域の学習には**事例**を配置。

2 授業の導入の問いかけ
冒頭に、「なぜ」「どうして」などの素朴な疑問を設定。まず自分で考察させる。

2 「アメリカンドリーム」と聞いて何を連想する？

12 自由の女神像 (2019年撮影) 右手には松明を、左手には独立の日である1776年7月4日の日付が刻まれた独立宣言書を持っている。

26 カリフォルニアの金鉱跡 (2011年撮影) 19世紀半ばに世界中から移民が押し寄せ、ゴールドラッシュに沸いた。

世界遺産マーク
世界遺産に登録されている写真に付加

緯度経度でジャンプ
地球儀ソフトや地理院地図などで緯度経度で検索ができるよう写真の撮影地点を掲載。

学習の流れ
このページでの学習内容と捉え方について、2~3項目に分けて提示。読み取り、整理、比較、考察、まとめるなど、学習の段階に応じて理解を深めます。

豆知識
このページに関連するおもしろい雑学や裏事情など、トリビア的な情報を掲載。

サハラにも雪が降る! (P.60)
インドにカレーはない!? (P.74)
スイスがEUに加盟しないのは? (P.112)
鳥取砂丘は砂漠か? (p.162)
[tsunami] は国際用語? (P.182)

4 事例 グローバル化による成長と課題①
アメリカの多様性はどのようにして生まれたか?

アメリカ建国の精神 ニューヨークのリバティ島に立つ自由の女神像は、アメリカの自由と民主主義の象徴だが(写真1)、移民にとっては、一攫千金、希望の象徴でもあった。すべての機会は均等にあり、志さえあればあとは勤勉と努力で成功をつかむことができる。身分や階級に縛られた当時のヨーロッパと違って、新大陸アメリカには制約がなく自由だった。アメリカンドリームを実現した有名な政治家や企業家もいて、その精神は現在も受け継がれている(写真2)。

西部への拡大と人々の多様化 アメリカの独立は大西洋に面する東部13州から始まり、移民の増加とともに西部への開拓が進んだ。中央部の大平原をフランスから、西部の山岳地帯をメキシコから手に入れ、大西洋から太平洋にわたる広大な領土を獲得した。独立当初からアメリカの政治・経済を担っていたのはイギリス系の移民だった。白人で、アングロサクソン系で、プロテスタント信者だったことからWASPとよばれた。19世紀に入りヨーロッパで飢饉や戦争がおこるたびに、アイルランドやドイツ、イタリアなどから移民がアメリカをめざした。また、19世紀後半のゴールドラッシュのときには、ヨーロッパのほかにもラテンアメリカからも移民が殺到した(写真3)。

118 豆知識 女神さまの膝元には? ニューヨーク港の自由の女神像はアメリカの独立100周年を記念して、1886年にフランスから贈られた。移民にとっての新天地の象徴となったが、すぐそばのエリス島には移民局があってきびしい入国審査が行われた。

3 本文の学習
導入の問いかけを受け、本文では「学習の流れ」に沿って、図版・写真・欄外と連携し、授業内容を丁寧に解説。

4 まとめよう
授業を振り返り、自分のことばでまとめたり、さらに調べて、考えをまとめたりさせる。

123 用語解説・参考用注記
本文に取り上げた用語や、書かれている内容について解説文を補っています。

Try Work
内容を読み取ったり、作業したり、さらにその結果をもとに考察したりします。

4 事例 アメリカへの移民の推移 (2016年)

3 アメリカの民族・民族構成の地域差 (2016年)

4 アメリカの民族構成の変化予測 (2060年)

3 民族のサラダボウル 独立以来、世界中から多くの人間が移り住んできたアメリカだが、地域によって民族構成が異なる(図6)。南東部にはアフリカ系の人々が、南西部にはラテンアメリカからの移民であるヒスパニックが多く、カナダとの国境に近い中部や北部はヨーロッパ系がほとんどを占める。南東部にアフリカ系が多いのは、17世紀から19世紀にかけてアフリカ人が、綿花やさとうきび栽培のために強制的に連れてこられたからである。20世紀に入ると中国や日本などアジアからの移民が西海岸に流入し、メキシコからはヒスパニックが南西部に労働者として入った(図5)。また、追いやられた先住民のアメリカインディアンは西部に多い。このようにアメリカでは、多種多様な民族が混在しながらも、それぞれが独自性を維持しつつ、アメリカ国民として暮らしている。そのようすを例えて、民族の「サラダボウル」とよんでいる。

現代の移民と社会の変容 現在でも世界各地からアメリカをめざす人は多い。特に、メキシコをはじめラテンアメリカ諸国からは、不法も含めて多くの人が国境をこえてアメリカに入っている。そのため、民族構成は日々変化しており、2060年には、現在マイノリティ(社会少数派)とよばれている人々の数が増加し、ヨーロッパ系の人々の割合は4割近くまで減少すると予測されている(図7)。

4 まとめよう アメリカ建国の過程と、現在までの移民社会の変化をまとめ、アメリカ社会の多様性について考えてみよう。

大判紙面をフル活用
多彩な構成要素が
本文をサポート

Try Work
内容を読み取ったり、作業したり、さらにその結果をもとに考察したりします。

123 用語解説・参考用注記
本文に取り上げた用語や、書かれている内容について解説文を補っています。

充実したコラム
生徒の興味・関心を引き出す話題を随所に掲載しています。

トピック 43
このページに関連する地理の面白い話題を取り上げています。

世界の衣・食・住 8
世界の生活文化を紹介して国際理解をはかります。

私たちにできるSDGs 7
持続可能な社会に向け私たちにできることを提案しています。

日本とのつながり 9
日本と世界とのつながりを紹介して国際理解をはかります。

地域調査のスキル 8
生活圏の調査に役に立つ手段・方法を紹介します。

クローズアップ

祈りの姿を通して宗教の多様性をみてみよう

章・節の学習へ誘う導入ページ

「祈る」という行為は、世界各地のどのような祈りの形がある。宗教は、人々の毎日の暮らしに広がりをもつ宗教として、キリスト教、イスラーム

章・節の導入部に、大判の写真・地図・資料を掲載しました。ここでは祈る姿勢や衣服、礼拝の規模など、宗教や地域の違いに注目させ、次ページからの言語・宗教の学習へと誘います。

キリスト教の祈り

キリスト教徒にとって祈りは信仰生活の中心となる宗教行為で、黙したままや、声に出して唱えられたり、「聖歌」や「讃美歌」として歌われたりもする。

▶ p.96



↑1 食前の祈り(イギリス, 2013年撮影)



↑2 ロシア正教におけるイコンへの祈り(ロシア, 2014年撮影)



↑3 礼拝でのゴスペル(アメリカ, 2013年撮影)

2章3節 言語・宗教と生活文化

導入ページ クローズアップ

イスラームの祈り

儀式的な「祈り」のことをイスラームでは「礼拝」といい、1日5回行われている。礼拝の時間や、祈る方角、動作や唱えることが定式化されている。

▶ p.98, 100

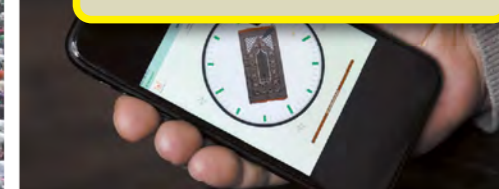


↑5 ムスリムの巡礼集会での祈り(バングラデシュ・ダッカ近郊トンギ, 2016年撮影)
毎年開かれる巡礼集会には、数百万人ともいわれるムスリムが世界中から集まってくる。

? / Question

- ① キリスト教、イスラーム、仏教の違いを写真から読み取ろう。
- ② それぞれの宗教は、どのような国や地域で多く信仰されているのだろう。
- ③ 人々は何を祈っているのだろう。それぞれの違いだけでなく、共通していることはないだろうか。

「クローズアップ」のページには、それぞれの写真や資料の背景を考察させる Question を設定



↑6 メッカの方向を示すスマートフォン用アプリ



↑7 金曜礼拝に集まる女性(イラン・イスファハーン, 2008年撮影)

仏教の祈り

仏教の「合掌」という行為は、インドでの礼拝の仕草からきている。合掌には、相手を敬い感謝する気持ちがこめられている。

▶ p.94



↑8 仏塔に向かって祈る(ミャンマー・ヤンゴン, 2012年撮影)
シュエダゴンパゴダ寺院は、ミャンマーの宗教の聖地としてあがめられてきた。人々の祈る先には、高さ約100メートルの黄金の塔がそびえる。



↑9 寺院での僧侶の祈り(タイ・バンコク, 2019年撮影)



↑10 香棒をささげて祈る(香港, 2017年撮影)

祈る場面や祈る姿勢も、宗教によって違うんだね。



迫力のビジュアル写真

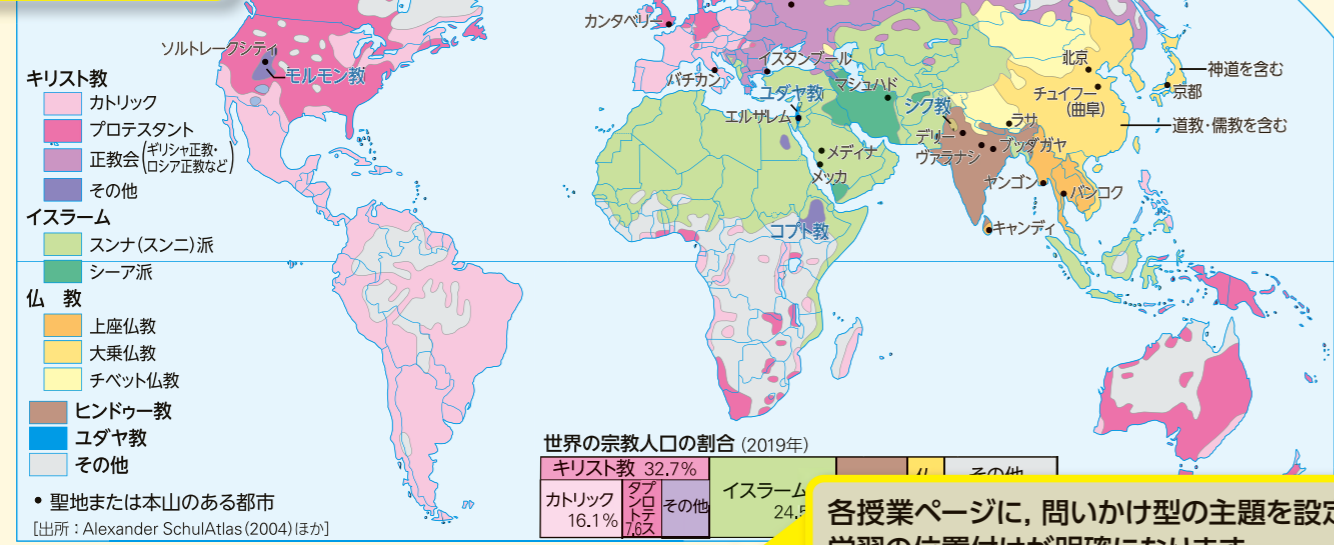
人々のようすや細部の装飾まで映し出すよう、写真を大きく掲載しました。



↑4 カトリック教会でのミサ(スペイン・カタルーニャ, 2018年撮影)
10 ムルセロナ近郊のモンセラート山にある修道院の大聖堂。古くから、この地方のキリスト教の聖地とされ、多くの人々が祈りをささげに集う。

それぞれの宗教はどのような地域に広まっているのだろうか？

導入の問いかけで、図や写真に注目させ、生徒に気づきを促します



↑1 世界の宗教分布

各授業ページに、問いかけ型の主題を設定。学習の位置付けが明確になります。

- ① 世界宗教の分布の特徴を確認する。
② 代表的な宗教を例に、社会や生活とのかかわりを理解する。
③ 日本における宗教について考察する。

「学習の流れ」で、このページの学習の段階的な展開を明示しました。

トピック
Topic
宗教の対立と共存

世界各地で宗教間の対立がみられる。同じ宗教でありながら、教義の解釈の違いなどで争いがおきることもある。しかし、宗教には、自分の生き方を問い、信じるものがあるという共通性がある。一つの宗教を信じる人が多い地域に、ほかの宗教の信者がいても、多くの地域では争いがおこらずに共存している。しかし、そこに貧困や経済格差が生まれると、差別や蔑視もからみ合っ、宗教の対立となつてあらわれる。宗教的な価値観は、信仰が強くなると排他的な側面をもつが、すぐにそれが争いになるというわけではない。

2 世界の宗教
宗教は暮らしとどのように結びついているか？

世界に広がる宗教 精神的な文化の一つである宗教は世界中にみられる。どのような宗教を信仰する人が多いのか、地域的な特色を図1からみてみよう。最も宗教人口が多いのはキリスト教で、ヨーロッパをはじめ、南北アメリカ、オセアニアに多い。イスラームは宗教人口の2割以上を占めており、西アジアを中心に中央アジア、アフリカ北部、マレーシア、インドネシアなどに広がっている。ヒンドゥー教は南アジアに、仏教は東アジアから東南アジアに広くみられる。仏教は宗教人口ではヒンドゥー教より少ないが、国や民族をこえた広がりから、キリスト教とイスラームとともに世界宗教とよばれている。

宗教の社会・生活への影響 古くから人々の心の支えになってきた宗教は、仏教のお盆の時期の墓参り、イスラームのメッカ巡礼、キリスト教のクリスマスなど、人々の日常生活のなかに根づいたものになっている。国教を設定している国では、宗教の教えが政治にも大きな影響力をもつ。また、教会や寺院などの宗教施設が人々の暮らしの核になり、地域社会を支えていることもある。キリスト教の日曜礼拝のように人々の日常の行動を規定したり、肉類や酒類、カフェインなど、食べてはいけないものを規定している宗教もある。

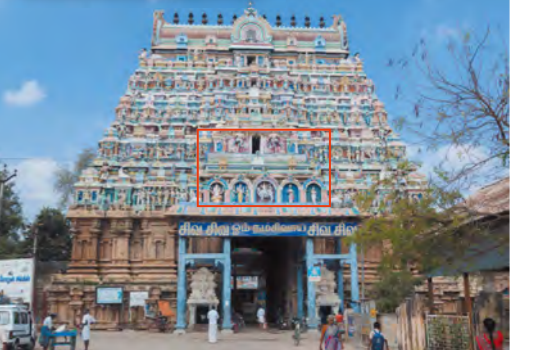
世界スケールで分布や特徴、背景や関係性などを大観



経緯度で現地へジャンプ！
特定の写真には経度・緯度を示しました。GoogleEarth・地理院地図などに入力すれば、周辺の様子を俯瞰できます。

N25 18 22, E83 00 37

→2 ヒンドゥー教の寺院(タミルナドゥ州, 2018年撮影) 寺院の入口の塔は、ヒンドゥー教の神々の彫刻像によって華やかに装飾されている。左写真は右の赤囲みを拡大したもの。



- ② 中国の孔子を始祖とする儒教や、土俗的な多くの神をもつ道教なども含まれる。
③ ヒンドゥー教の教えに定められた社会的階層のこと。カーストには身分・階級を示すものと、生まれや職業集団をさすものがある。カーストは職業などで細かく分けられ、職業や住む場所が規定されることもある。

世界最大の民族宗教 ヒンドゥー教 特定の民族や地域と強く結びついた宗教を民族宗教とよぶ。ヒンドゥー教は約10億人が信仰しており、インドやネパールに信者が多い。インド古来のバラモン教に、仏教やインド各地の民族的な信仰を取り入れ、長い時間をかけて生まれた。ヒンドゥー教には浄・不浄の概念があり、それは人やものにも反映される。豚肉は不浄とされるために食わず、牛肉も牛が神あるいは神の使いで神聖なものとされるために食べない。食事をするときは、浄とされる右手を使い、不浄な左手は使わない。この浄・不浄の概念はカーストとよばれる階級制度に結びつき、長くインド社会を規定してきた。現在は、憲法でカーストによる差別は禁止されている。

日本人と宗教 日本では、さまざまな宗教が人々の生活に浸透している。神道は古来からの自然崇拝や祖先信仰から生まれ、いまでも地域の神社として続いている。仏教は、年中行事や冠婚葬祭の形で受け継がれている。また、キリスト教も、クリスマスのように、一つの文化となって暮らしのなかに生きている。信仰する宗教は明確でなくても、初詣は神社に、結婚式は教会で、葬式はお寺でと、宗教的な行事を生活に取り入れる人も多い。日本人は異なる宗教に寛容とされる。その背景にはこれまで多くの文化を受け入れ、独自の徳観を創造してきた歴史がある。



本項で学習したことの確認や発展的な問いを設定。生徒自らに考えさせます。



↑2 黒いニカブ姿の女性 (イラン, 2018年撮影)



↑3 伝統的な衣装で新年のお祝いをする女性 (カザフスタン, 2014年撮影)



↑4 カラフルなヒジャブ姿の若者 (マレーシア, 2004年撮影)

ムスリムの女性は、地域によって服装がさまざまだね。



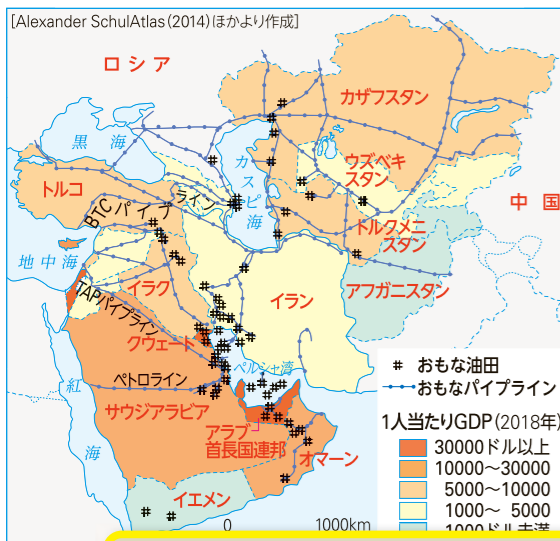
事例学習による理解の深化

世界を大観する学習の後、代表的な事例に焦点を絞り、具体的に学習します。言語・宗教では次の事例を取り上げます。

- ・仏教 ・キリスト教 ・イスラーム
- ・ラテンアメリカ ・オーストラリア

の流れ

② 同じ宗教でも、地域によって暮らしへの影響が違っていることを確認する。



↑5 西アジアのカラーユニバーサルデザインを取り入れ、色覚特性のある生徒に配慮しています。

6 事例 イスラーム圏の生活文化② 地域によって宗教の暮らしへの影響は異なるか？

西アジアのムスリム イスラームは、西アジアから中央アジア、東南アジアへと広範囲に分布しているが、暮らしぶりは一様ではない。各地域の暮らしの様子をみてみよう。

西アジアにはアラブ系民族の多いサウジアラビアをはじめ、イスラームの厳しい戒律を守っている国が多い。イランではイスラームを国の統治原理の根幹においたイスラーム共和制がとられ、政治にイスラームが深くかかわっている。石油資源に恵まれ、経済的に豊かな国が多い。図5のように、油田から輸出港にパイプラインが縦横にはりめぐらされ、1人当たり国内総生産(GDP)の高い国が多い。

一方、石油依存の経済から脱却するために、新しい産業の開発も進められている。バーレーンのようにアルミニウム工業などの工業化を進めたり、アラブ首長国のように経済特区を設けて海外からの投資をうながしたり、サービス業や観光業に力を入れている国もある。アラブ首長国のドバイでは観光開発が進んで、世界中から観光客が訪れている。また、足りない労働力を補うため、建設業やサービス業を中心としたさまざまな業種で、外国人労働者を受け入れている。人口の8割以上を外国人を占め、ムスリム以外の人々も多い。

トピック Topic

パレスチナをめぐる対立

パレスチナの中心都市エルサレムは、ユダヤ教、キリスト教、イスラームに共通する聖地になっている。キリスト教にとってはイエス・キリストが十字架にかけられた地であり、イスラームにとっては預言者ムハンマドが天国に旅立った地で、メッカ、メディナに次ぐ巡礼地でもある。

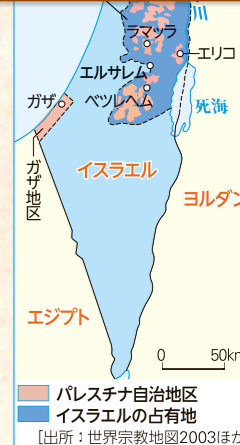
1947年の国連総会で、パレスチナをユダヤ国家とアラブ国家に分割することが決まりイスラエルが建国されると、世界各地に離散していたユダヤ人が移住した。しかし、もともとの住民であったパレスチナ人や周辺のアラブ諸国は、この建国を受け入れられなかった。アラブ諸国とイスラエルの間で数度にわたる中東戦争が起こり、多数のパレスチナ難民が生まれた。

ヨルダン川西岸とガザ地区にはパレスチナ人が多いパレスチナ自治地区がある(図7)。イスラエルはヨルダン川西岸の一部を占領し、高い壁をつくってパレスチナ人を排除しているが、パレスチナはそこにパレスチナ国家の樹立をめざしており、対立が続いている。



↑6 「嘆きの壁」に祈る人々(2018年撮影)

西暦70年にローマ軍に破壊された神殿の外壁の一部が残っている。壁に手を差し伸べたり、頭を打ちつけたり、祈りをささげるユダヤ教徒の姿が印象深い。



2章3節 言語・宗教と生活文化

授業ページ 地域事例

日本とのつながりに注目!

さまざまな分野の日本と世界の間について全9テーマを取り上げています。

日本とのつながり

日本のムスリム

日本でも、西アジアや東南アジア出身の多くのムスリムが暮らし、祈りのためのモスクも全国にいくつもある。生活環境が違っても敬虔なムスリムは多く、日本社会がどのように対応し、国際化していくかが課題になっている。例えば、学校生活でも宗教的な理由で、給食や体育などで配慮が求められる場合が出てきている。制服や祈りの時間など、柔軟な対応が進められている。



↑8 東京駅に設置された祈禱室(2017年撮影)

中央アジアのムスリム

かつてソ連の構成国だった、中央アジアのウズベキスタンやカザフスタンなどではムスリムが多い。ソ連時代はイスラームに対して抑圧政策がとられていたが、1991年のソ連崩壊と独立により宗教の自由が訪れると、信仰も復活した。

イスラームは飲酒を禁じているが、遊牧民の多い中央アジアでは古くから馬乳酒が飲まれており、ソ連時代にも飲酒の習慣があった。そのためアラビア半島などに比べて禁酒への意識はそれほど厳格ではない。また、イスラームではコーランの教えによって墓も質素なものが多いが、中央アジアでは民俗信仰の影響から独特なデザインの大きな墓が多い。近年、若者を中心に、禁酒やモスクでの礼拝、祈りの時間の厳守など、厳しい戒律を求める動きもある。

東南アジアのムスリム

インドネシアでは人口の9割、マレーシアでは6割がムスリムで、人口規模では西アジアよりも多い。街にはカラフルな絵柄のヒジャブをまとったムスリム女性の姿もみられる(写真4)。一方、黒いチャドルに身を包む女性もいて、服装や生活習慣は一様ではない。敬虔なムスリムと戒律にゆるやかなムスリムが混在している。敬虔さの度合いは出身地や年代によっても違いがみられる。アジアのムスリムといっても、その地域の政治や自然環境、経済発展、聖地メッカからの距離などの影響を受け、多様になっている。

まとめよう

西アジア・中央アジア・東南アジアでの、人々の生活とイスラームの関係を比較し、地域によるイスラームの影響の違いをまとめよう。



地域で異なるムスリムの女性の衣服 チャドルは頭から全身を隠すマントのような黒地の衣服だが、顔は隠さない。ニカブは目以外の顔と髪をすっぽりとおおうのに対し、ヒジャブは髪や首回りを隠すためのスカーフで、顔は隠さない。

世界のさまざまな生活習慣や文化への理解を深める
外国の人々との交流, あなたならどうする?

これまで学習してきたように、世界には数多くの言語や宗教、文化があり、人々の価値観や行動に影響し、日々の生活習慣となってあらわれている。外国人と交流する場合、日本の文化、慣習との違いについて、どう考え、対応していけばよいのだろうか。

◆ **世界のあいさつジェチャーに注目!**

フランス
体を離れたままほおを寄せる

ロシアなどの東欧諸国
抱擁しながらほおを二、三度、寄せ合う

アラブ (男性同士)
右手で握手、左手で肩を抱いてチークキス

インド・ネパール
「ナマステ」と手を合わせる
軽く膨らませた手を合わせる

日本
おじぎ、会釈

ニュージーランド・マオリ
鼻と鼻を合わせてお辞儀をする

日本人のお辞儀を、外国人はどう感じているのかしら。

握手

アクティブラーニングの実践!
各節末に、個人での調査からグループ討論まで、調べ学習からグループ活動、校外活動まで12の多彩なアクティビティを設定。

アクティビティ指導用教材の充実
すべての各アクティビティについて以下の教材を用意。
ルーブリック方式の評価規準表も用意しています。(→ p.41)

指導の手引き 生徒用ワークシート 進行用スライド

高さで両手を合わせてお辞儀をする。軽く合わせる手は仏を象徴する蓮の花のつぼみでありあいさつジェチャーになっている。は、互いの鼻をすり合わせる。「ホンギ」をするという意味をもっている。あいさつを象徴ともいえる。

国のあいさつのしかたも調べてみよう。よる共通点はあるだろうか。

2章3節 **言語・宗教と生活文化**
実践ページ アクティビティ

① **ケーススタディ** 具体的には実際におこるできごと(ケース)に登場する人物になったつもりになり、その場合、どのような行動をとるかを考察する活動。



◆ **「レディーファースト」と「待ち合わせの時間」の違い, そのときあなたは?**

仕事や留学で日本に移住する外国人が増えている。しかし、外国人にとって、日本の文化や生活習慣が自分の国とかなり違っているため、戸惑いも大きい。日本に来たからには日本の慣習に従うべきともいえるが、相手の文化を理解し尊重する姿勢がないと、誤解や軋轢ばかりが生まれてしまう。個人の性格はもちろん、民族的な価値観の違いもよく理解しておかなければならない。外国人との接し方、付き合い方について、どうすればよいか、いろいろな場面を想定して、具体的に考えてみよう。それぞれの文化や慣習の違いについて、主張すべきこと、譲り合うポイントを心得ておくことは大切なことである。



チャレンジ 次の二つのケースについて、どう考え、どう行動するか、グループで話し合ってみよう。

ケース① レディーファースト, あなたはどう感じる?

フランスにホームステイに行ったKさん、エレベーターやバスに乗るとき、すぐ前に並んでいた男性が、先に乗るよう入口を譲ってくれたことにびっくりした。友達に聞いてみると、こうしたことはレディーファーストとして自然なふるまいとのこと。ドアは先に男性が開ける、階段を上るときは男性が女性の前を歩いてエスコートすることもごく普通とのこと。このような習慣をどう思うか。

ケース② 待ち合わせに遅れる留学生, 注意する?

日本に留学してきたばかりのBくん、待ち合わせに遅れてくることが多い。Bくんの国では時間のルールはあまりきびしくないとのこと。日本の電車が定刻通りに動き、みなそれを当然と思っていることに驚いている。Bくんの国では時間はおよその目安をあらわすにすぎず、待つことも待たされることもそれほど気にならないという。時間に対する決まりごとや習慣の違いをどう注意し、説明すればよいだろう。

考えてみよう

女性だけではなく、年配の人や体の不自由な人に対しても行われることなのかな。

女性を優先するということにどういう意味があるのかな。

考えて、あなたはこのとき、どう考える?

地域による文化や慣習の違いにより、どのようなことがおこるのか。具体的な場面を想定し、意見を述べ合います。

遅れるのは困ったことだね。Bくんの国で遅れることに厳しくないのは、なぜだろう。

Bくんの国の基準を尊重しつつ、日本のルールを説明する場合、どのように伝えればよいのかな。

地球的課題と国際協力

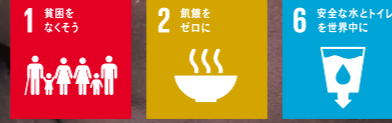
私たちはどのような地球的課題に直面しているのだろう

章の導入に大判の写真

各章の冒頭には、章全体を大観する大判の写真ページを設定。問いかけにより、問題意識を喚起します。

途上国へ食料はいきわたっているか？

世界の全人口を養うだけの食料は生産できているというのに、飢餓に苦しむ人が絶えないのはなぜだろう。増え続ける人口、世界から飢餓をなくするにはどうすればよいのだろうか。



ユニセフと世界食糧計画による子供達の健康状態の調査 (南スーダン、2015年撮影)

GoogleEarth プロジェクトで散策

教科書のテーマに即して、俯瞰したり接近したり、ストリートビューで地上におりたったりしながら、解説します。(教師用指導書 朱書き編)



掲載写真へジャンプ

する電力需要にどう対処すればよいか？

ける人口、都市の拡大、産業の発達によって、今後、世界の電力需要はますます高まると予想される。枯渇が心配される化石燃料から、環境負担が少ない再生可能エネルギーへの転換ははかれるだろうか。

都市への人口集中により何がおきるか？

都市のさまざまな機能を求めて、大都市への人口集中が激しくなっている。都市への過度な人口集中は、交通渋滞や無秩序な都市開発などを引き起こす。都市を持続的に発展させていくには、どのような視点が必要だろうか。



(インドネシア・ジャカルタ、2017年撮影)

この章で学ぶこと

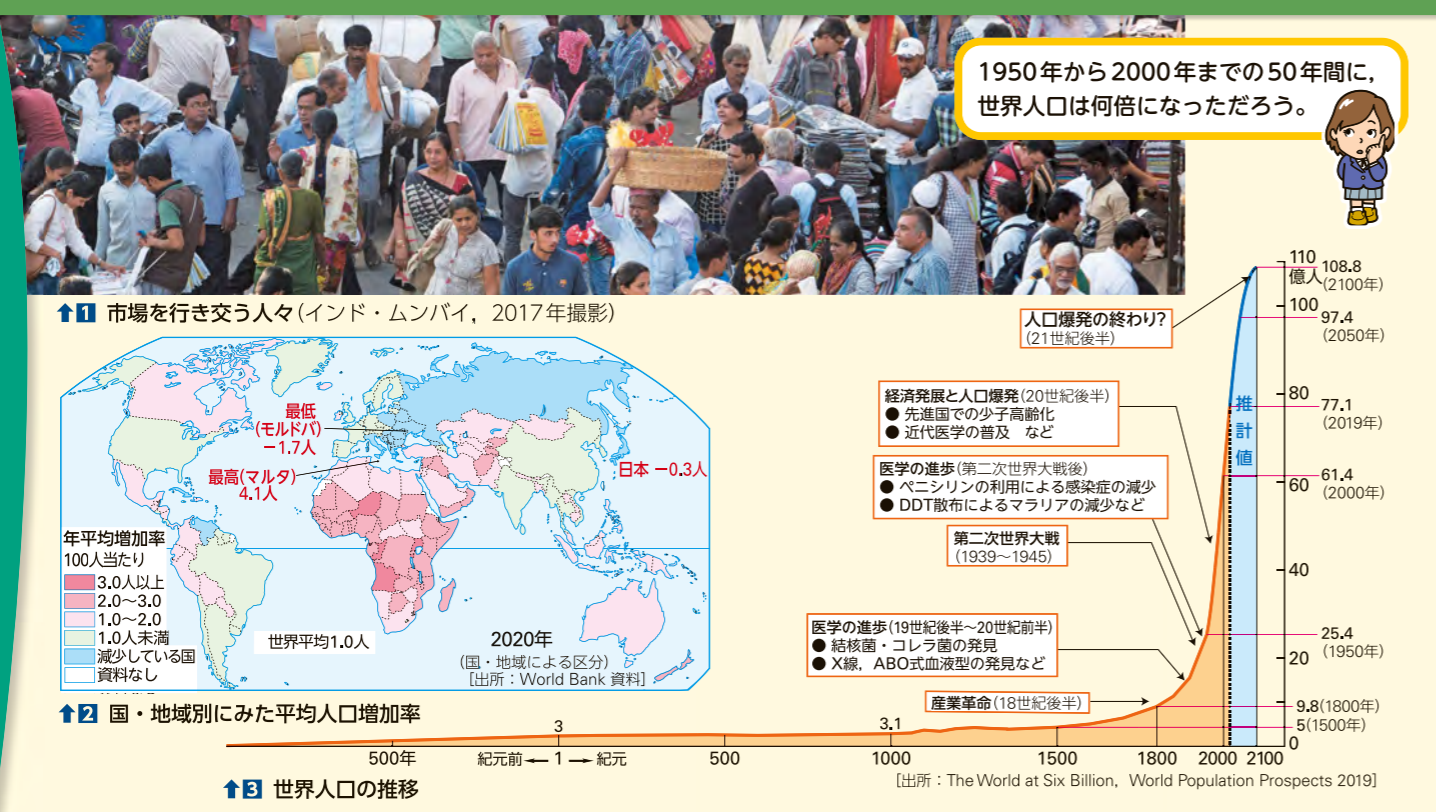
四つの写真が示すように、人口・食料問題、居住・都市問題、資源・エネルギー問題、地球環境問題など、さまざまな問題が世界各地でおきている。いずれも一国で対処できるものではなく、国際協力によって取り組み、解決していくことがのぞまれる。この章では地球的課題について、問題の結びつきを考えながら、私たちにもできる取り組みをさぐってみよう。



流氷の先端で狩りを行うホッキョクグマ (シルエー領スズー、ルバル諸島、2017年撮影)

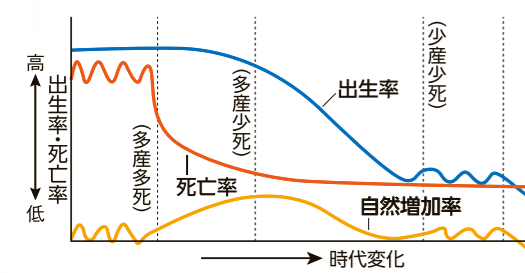
SDGs の視点を活用
地球的課題や生活圏の諸課題、節末のアクティビティなどをSDGs (持続可能な開発目標) の17の目標との関連からも考察させます。

るか？
がおきている。北極海をおおっていたり、海水温や海水の循環にも変化のような行動をとればよいのだろうか。



- 学習の流れ**
- ① 世界の人口増加の推移と、人口増加率が高い地域を確認する。
 - ② 人口の変化と社会・経済状況との関係を調べる。
 - ③ 人口をめぐる問題について、人口ピラミッドをもとに考察する。

1 人口の自然増加に対し、移民や難民など国境をこえた移動による人口増を社会増加とよぶ。ある国の人口の変動は、自然増減と社会増減を合わせたものになる。



豆知識 **長寿化する世界!** 2018年の日本人の平均寿命は女性が87.26歳、男性が81.25歳。「世界保健統計」(2019)によれば、1950年の世界の平均寿命は48歳だったのが、2016年には**20**で、70年ほどの間に1.5倍近くも長寿化が進んでいる。

1 世界の人口問題 増え続ける人口、どのような課題があるか?

増え続ける世界の人口 図3で世界の人口をみると、産業革命の頃から人口が増加し始め、第二次世界大戦後はさらに急増している。1950年に25億人を突破し、2000年には61億人をこえた。この間、50年で2倍以上に増加したことになる。こうした急激な増加を**人口爆発**とよぶ。出生率の低下により増加のスピードはゆるやかになるものの依然として増え続け、2100年にはおよそ109億人でピークに達すると予測されている。発展途上国に増加率の高い国が多く、特にアフリカに集中している(図2)。

どのように増加するか 出生率が死亡率よりも高い状態で人口が増加することを**自然増加**という。出生率と死亡率がどちらも高い多産多死型やどちらも低い少産少死型では人口はあまり増減しない。出生率が高く死亡率が低い多産少死型になると人口は増加する。**多産多死型の社会は、医療が進歩し衛生が改善されると死亡率が低下して多産少死型に移行していく。**出生率は高い状態にあるため人口は増加する。その後、**経済発展により出生率が低下して少産少死型に移ると人口は**さらに、出生率

地理ならではの豆知識

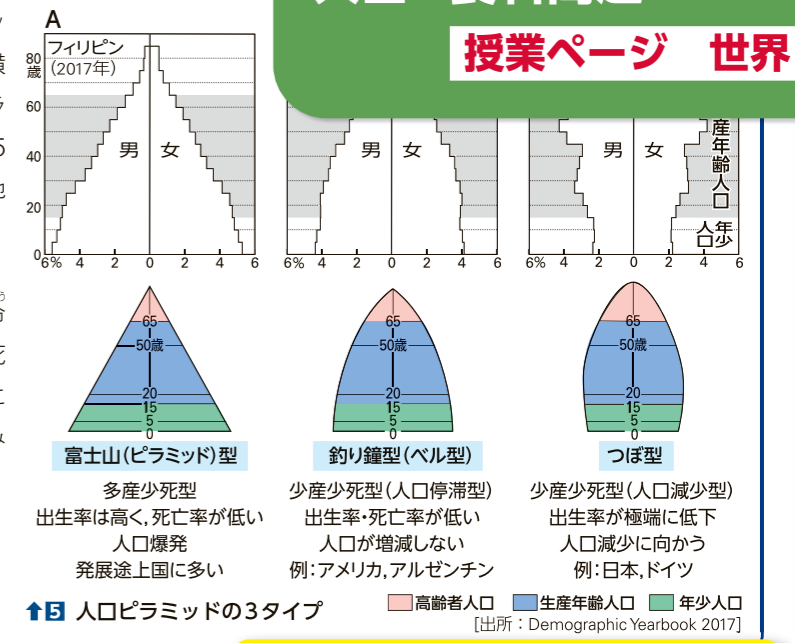
全授業ページに、本文に関連するトリビアを設定。授業を膨らますネタとしてご活用ください。

地理のスキルアップ⑨ 人口ピラミッドの読み方

ある国や地域の人口構成を知るには、人口ピラミッドをみると理解しやすい。グラフの縦軸に年齢を、横軸に男女別の人口(実数または割合)を設定する。ピラミッドの形や、**年少人口(0~14歳)**、**生産年齢人口(15~64歳)**、**高齢者人口(65歳以上)**の割合から、その地域の特徴を読み取ることができる。

多産少死型のピラミッドは、年少人口の割合が高く、高齢者人口の割合が低い**富士山型(A)**になる。平均寿命が短く、発展途上国に多くみられる。一方、少産少死型では年少人口の割合が少ない**釣り鐘型(B)**や、さらに少なくなると**つぼ型(C)**になる。これは先進国に多くみられる。

Try 図5上の人口ピラミッドの高齢者人口・生産年齢人口・年少人口を色分けしてみよう。全体に占める生産年齢人口の割合が高いのは、どのピラミッドだろうか。



人口をめぐる問題とは 図6は、おもな国の経済発展と合計特殊出生率^②の関係の変化をあらわしている。それぞれの国の人口転換の段階は違っているが、どの国も時間の経過とともに、経済が成長し出生率が下がっていることがわかる。ヨーロッパの国々や日本も多産多死型だった時代があり、人口転換を経て少産少死型に変化した。人口転換の段階によって人口をめぐる問題は異なる様相をみせる。

発展途上国では、衛生環境や食料事情が悪いことから**乳幼児死亡率**^③が高く、平均寿命も短い国が多い。このような国では、子供は家事や仕事を補助する貴重な労働力になっているため、多産の傾向にある。多くの発展途上国では医療技術の進歩や栄養状態の改善によって死亡率は急速に低下した。しかし、出生率は高いため、人口の増加が続いた。人口が**過剰**になると水や食料が不足し、電気、ガスや住宅などの供給も難しくなる。また、社会保障がいきとどかず、正規の仕事に就けないと収入も不安定なため、結果として**貧困**におちいる。

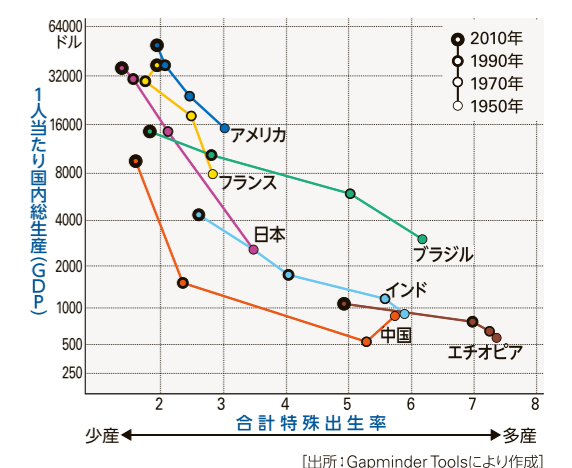
先進国では、出生率も死亡率もともに低くなり、**少子高齢化**が進んでいる。背景には、女性の社会進出や家族観の変化、ライフスタイルの変化による晩婚化や非婚化などがある。少子高齢化が進むと、経済規模の縮小や労働力不足がおき、社会保障制度や財政の維持が難しくなり、国力の低下が懸念される。

まとめよう 世界の人口が急増している要因と地域の特徴についてまとめてみよう。さらに、人口増加率が高い地域と低い地域がかかえる課題²¹を整理してみよう。

3章1節 人口・食料問題 授業ページ 世界

地理的技能コーナーの充実

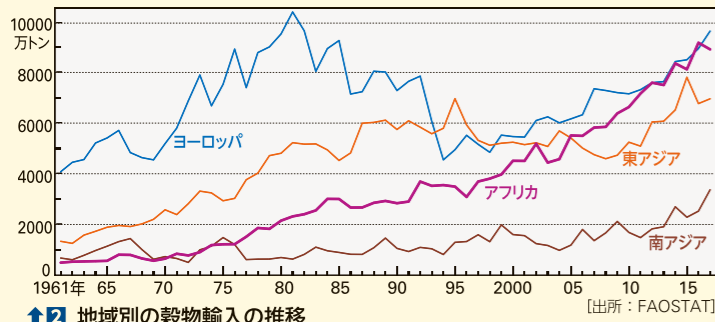
16の「地理のスキルアップ」のほか、各所に「Try」「Work」を設定。読図や作業を通して、段階的に地理的技能の習得を図ります。



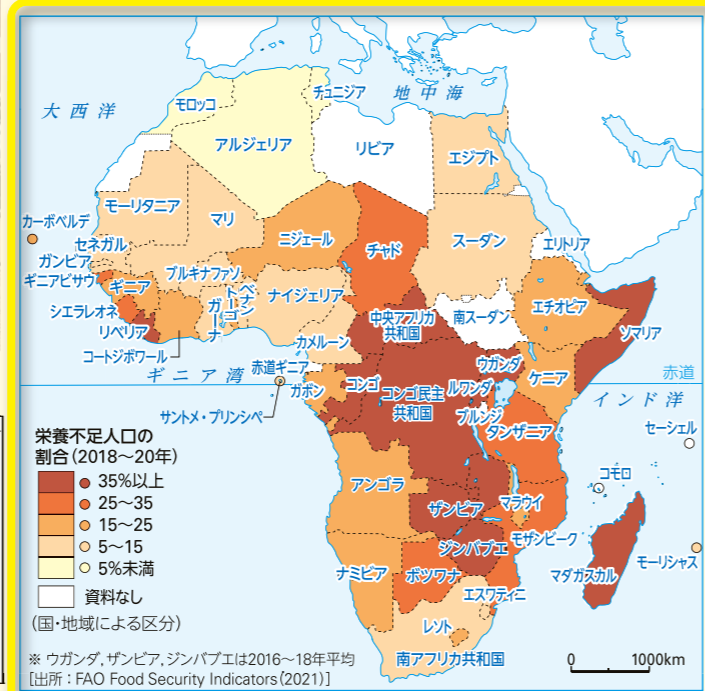


アフリカの食料生産、食料自給の現状はどうなっているのかな？

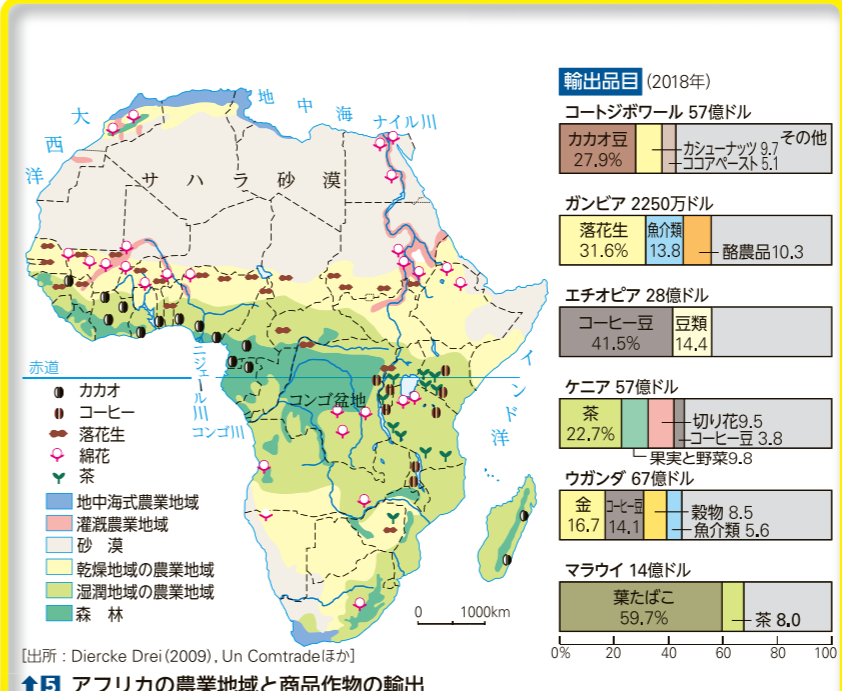
↑1 学校給食プログラムによる食料支援(南スーダン, 2018年撮影)



↑2 地域別の穀物輸入の推移 [出所: FAOSTAT]



↑3 アフリカの国・地域別の栄養不足人口の割合(ハンガーマップ)



↑4 アフリカの農業地域と商品作物の輸出



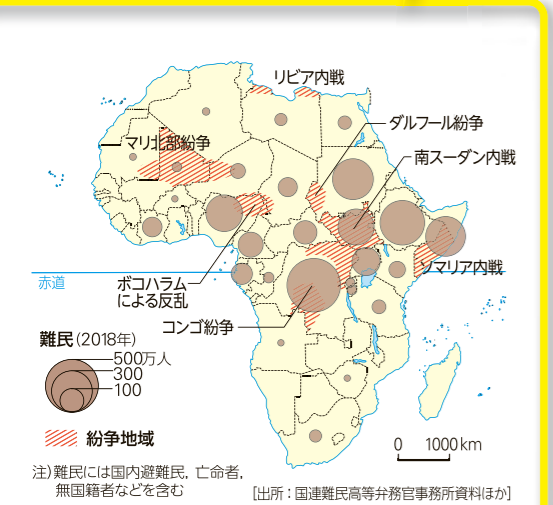
↑5 輸出用のカカオ豆の選別(コートジボワール, 2012年撮影)



↑6 日本の青年海外協力隊員とのネリカ米の栽培(ザンビア, 2013年撮影)

読図からテーマを深める
複数の地図を比較し、読み込むことにより、その地域の実態に迫ります。ここではアフリカの食料問題を事例に、国によって栄養不足の状況や背景が異なることを示し、理解を深めます。

① サハラ砂漠の南側のふちにあたる半乾燥地帯をいう。



↑4 アフリカの紛争と難民の発生地域

人口増加と食料問題
例 アフリカの食料問題を解決するには？

世界の栄養不足人口は約8億人にのぼる。そのうち、サハラ以南のアフリカが約3割を占めている。図3は、図2の世界の栄養不足人口の図を拡大したもので、アフリカには栄養不足人口の割合が高い国が多いことがわかる。なかでもチャドや中央アフリカなどでは、3人に1人が栄養不足の状態にあり、緊急の食料支援を必要としている。また、アフリカでは人口増加が依然として高い状態で続いており、食料生産や輸入は増加しているが(図2), 人口増加に追いつけず慢性的な飢餓が続いている国も多い。

飢饉の発生と緊急の食料支援
半乾燥地域のサヘルは、特に気候変動の影響を受けやすい。干ばつや洪水などによる不作だけでなく、内戦などによる武力衝突が、食料不足をより深刻にしている(図4)。さらに、経済の低迷と景気の悪化が飢餓を拡大させている。栄養不足人口が増加している国では、所得格差も拡大しており、栄養不足は、貧しく脆弱で社会から疎外されている人々を直撃している。特に、子供たちは栄養不足による発育阻害や感染症の危険にさらされており、国連世界食糧計画(WFP)などの国連機関が連携しながら緊急の支援活動にあたっている(写真1)。

社会参画を促す SDGs
身近な題材をきっかけに、持続可能な社会の実現に向け、自分たちにできることを考えさせます。

商品作物に依存する経済
アフリカなど。植民地時代に始まった、単一作物栽培(モノカルチャー)のテーション農業が続いてきた。生産は、自給用の作物の生産を圧迫している。また、単一作物の栽培に依存したモノカルチャーは、国際価格の変動に一国の経済が左右されるため、経済的に不安定な状況が続く。コーヒー豆やカカオ豆は栽培地域が熱帯周辺に集中しており、天候不順や病害により国際価格が乱高下しやすい。価格の低迷は、小規模な農家に直接影響をおよぼす。

自給用作物の生産に向けて
アフリカでは今後も人口の増加が続くと予想されている。食料自給率を上げるためにも、人口の増加に見合う主食の生産が欠かせない。しかし、アフリカの多くの国では、主食となる穀物を輸入にたよっており、近年は、輸入量も急増している(図2)。主食の自給体制の確立に向けて、農業技術の普及やインフラ整備などの国際協力が進められており、日本からもJICAによって、病害虫や乾燥に強い陸稲としてネリカ米栽培の技術指導が行われている(写真7)。また、経済発展によって増加している都市人口をまかなうため、農村地域から都市部へ農産物を供給できるような流通システムの構築も重要になっている。

私たちにできるSDGs
フェアトレードを通じた支援
途上国で生産された食料品や日用品が、安い価格で販売されていることがある。その安さを実現するために、生産者に適正な対価が支払われていなかったり、過酷な労働を強いられていたりするかもしれない。生産者が適正な対価を得られるよう、国際機関の基準に適合した商品に国際フェアトレード認証ラベルが貼られるようになった。この基準では児童労働の禁止や、安全な労働環境の確保が求められており、売上は生産者の生活改善と自立に向けた支援にもあてられている。

↑8 国際フェアトレード認証ラベルのつくチョコレート

重要だと考える順に支援方法を並べる
アフリカの食料問題解決に向け、どのような国際協力が有効か？

チャレンジ 途上国にとって、どのような国際協力が望ましいのだろうか。実際の支援は、相手国の困難な状況や発展の段階、また、協力側の考え方によっても変わってくる。さらに、緊急か短期的か長期的かによっても違ってくる。次のシナリオの場合、どのような支援が有効か、国際協力のあり方について考えてみよう。

シナリオ アフリカのある国。主要産業は農業で、小規模な家族経営が多く、自給的な栽培が行われている。農村部を中心に貧困率が高く、子供たちは慢性的な栄養不足におちいっている。灌漑設備が整っていないため、干ばつがおこると深刻な食料不足にみまわれる。そのなかでも、一部の農家では外貨獲得のため輸出向けにコーヒー豆を栽培しているが、輸出港までの運ぶ手段が整備されていないことから、輸出向けの栽培は少量にとどまっている。



手順① A～Iはこの国に向けての九つの支援方法を示したカードである。内容を読んで理解しよう。

A 現地の生産環境を整備する
日本の技術者を派遣したり、井戸や灌漑設備を建設したりするなど、農業基盤を整備する。

B 日本から食料や水を送付する
飢餓や栄養不足に苦しむ人々に、食料や水などの支援物資を送付する。

C 政府に資金支援を行う
その国の政府に資金支援を行う。自由に扱えるよう、資金の使い方については制限しない。

D 日本の農業技術を伝授する
農業技術者を養成するため、現地で研修会を開いて、栽培や品種改良の技術を指導する。

E 多くの人に現地の状況を伝える
その国の食料事情への関心を広めるため、SNSなどを通して、イベント活動への参加をよびかける。

F 現地企業と共同事業を行う
日本企業が現地の企業と連携してコーヒー豆の共同生産を行い、日本や海外市場に輸出する。

G フェアトレード商品を購入する
価格は割高でも、フェアトレードマークの入ったコーヒー豆を購入し、現地農家を支援する。

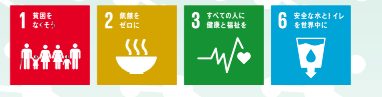
H NGOの募金活動に参加する
現地の栄養指導員の研修費に向け、募金活動をしているNGO団体に参加する。

I 給食プログラムをサポートする
学校給食を無料で提供する給食プログラムをサポートし、子供たちの栄養状態を改善する。

場面設定がわかりやすいよう、アクティビティではイラストを活用しています。

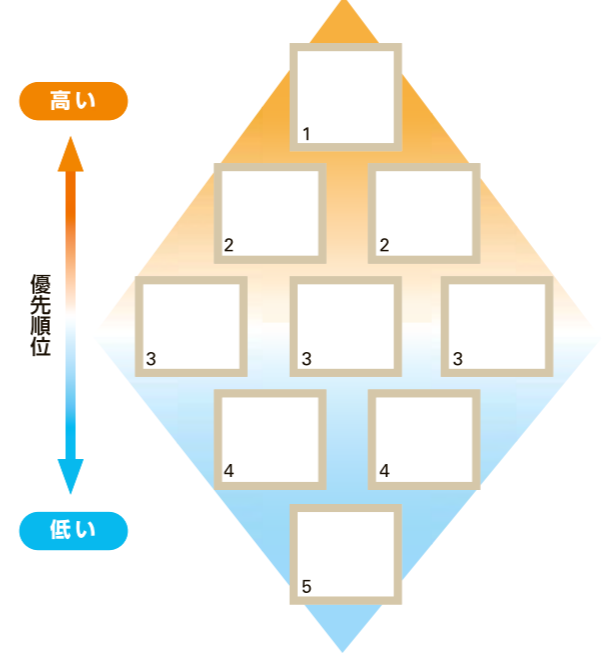
3章1節 **人口・食料問題**
実践ページ アクティビティ

！ダイヤモンドランキング ある課題の解決に向けた九つの方法を、優先順位が高いと思うものからダイヤモンド型に並べ、参加者同士で順位や理由について意見交換を行う活動。



手順② どのような支援方法がのぞましいだろうか。左ページのA～Iのカードを、あなたが優先順位の高いと考えるものから順に、ダイヤモンド型に並べてみよう。右欄にはその理由を記入しよう。

「飢餓をゼロに」を優先課題にかけている国連WFPの活動をみてみよう。



Q1 優先順位の最も高いカードと、最も低いカードを選んだ理由を記入しよう。

ダイヤモンドランキングにトライ!
9枚のカードのなかから、自分なりに優先順位の高い支援のあり方を具体的に考察します。グループ活動もさまざまな設定が可能です。食料問題のまとめの授業に、ぜひご実践ください。

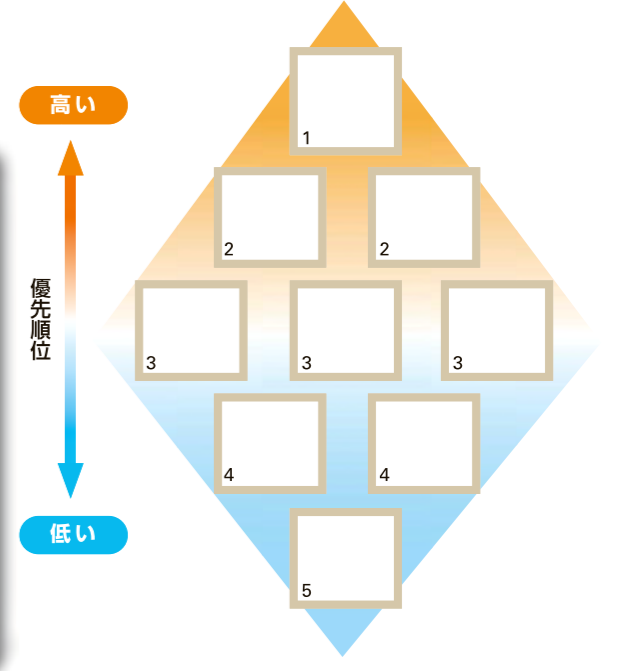
Q2 支援の優先順位を考える際に、どのような観点が重要と考えたか、記入しよう。

手順③ グループをつくり、それぞれのダイヤモンドランキングを比較し、内容について話し合ってみよう。話し合いを受けて、再び、ランキングを考えてみよう。あなたのランキングの順位は変化しただろうか。変化やその理由について記入しよう。

Q1 考えが変わった点はあるだろうか。グループ内の意見のなかで、どのような意見が参考になったか、記入しよう。

活発な対話に向けて
アクティビティ教材(→ p.41)のなかで、対話型のデジタルツールと、紙のワークシートを用意しました。

GoogleJamboard へのリンク 大判シートとカード



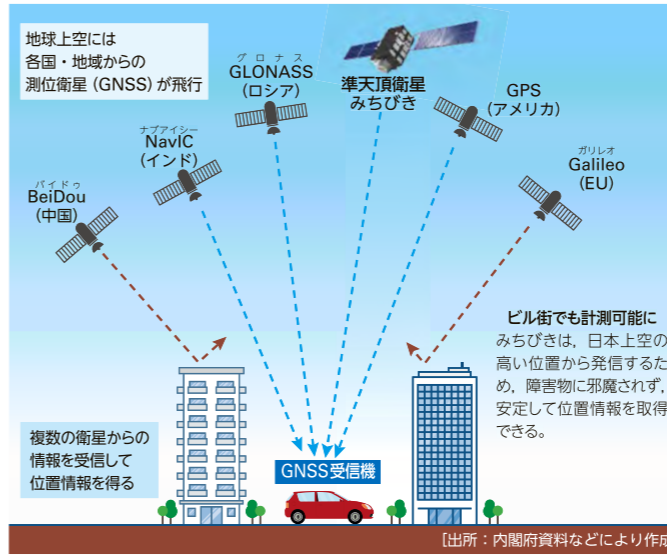


GIS をわかりやすく解説
GIS (地理情報システム), GNSS (全球測位衛星システム) は, 日常生活のあらゆる場面で活用されています。そのしくみや今後の実現化について, わかりやすく解説します。

↑1 鎌倉の標高データと市街地の重ね合わせ 既存の地図情報から必要なものを取り出したり, 自分で調べたデータを重ね合わせたりすれば, 地図は活用の幅が広がる。
[出所: 地理院タイル(標準地図, 色別標高図), 地理院地図 Vectorにより作成]

地図にはどのような情報が載っているだろう?

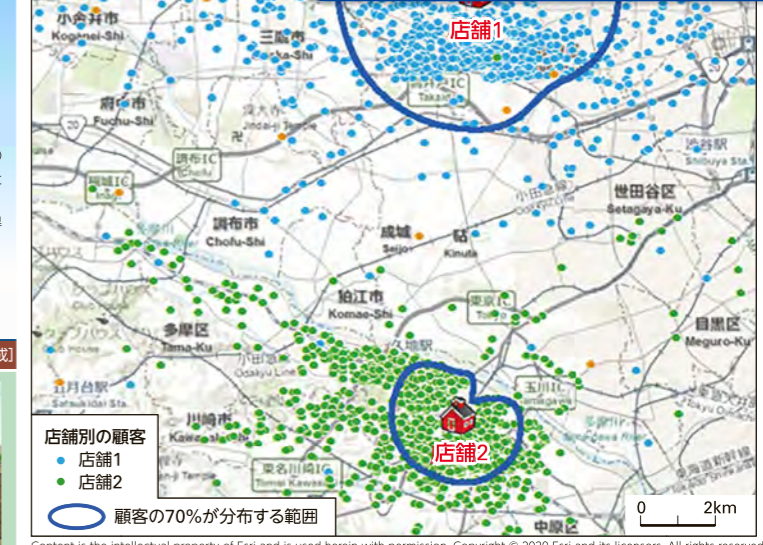
→2 鎌倉なびマップ 鎌倉市の施設や防災, 観光関連の情報が掲載されている。鎌倉の観光ポイントのほか, 駐車場やトイレの位置もわかる。鎌倉の市民団体が制作したもので, 独自調査の内容が掲載されている。
[出所: 鎌倉シチズンネット]



GNSS技術の実用化に向けた例

- 農業用トラクターの無人運転
- ドローンによる宅配サービス
- 除雪車の自動運転
- 津波の監視システム
- 海洋の土木工事

↑4 GNSSのしくみと活用例 「みちびき」からの補完により, 従来10m程度あった誤差が, 1m以下の誤差で測位できるようになった。



↑5 顧客の分布から店舗ごとの市場を分析するGISの活用例
来店する顧客データを分析すると, 店舗から一定の割合を囲む購買層の範囲(商圏)を求めることができる。顧客の購買傾向や競合店の分析, 新規の出店計画など, さまざまな分析に活用

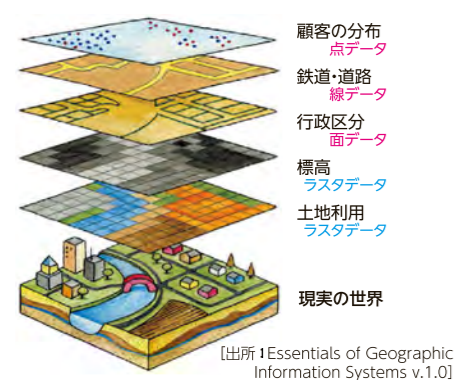
身近な話題を取り入れて, 授業に取り組みやすくしています。

- 学習の流れ
- ① 地図のデジタル化によって, 地図利用はどのように変化したかを確認する。
 - ② 地理空間情報とは何かを理解する。
 - ③ GISやGNSSのしくみを理解し, 地理情報がどのように活用されているかを確認する。

2 地理情報システム(GIS)のしくみと使い方
地理情報とは何だろうか?

地理空間情報とGISのしくみ
紙の地図がデジタル化されたことで, それまで1枚の紙に混在していた情報が, 種類やテーマごとに, 使いたいものを選択しながら利用できるようになった(図1)。駅や道路などの地名情報や, 人口や交通量などの統計情報を, 緯度と経度などの位置情報と結びつけたものを**地理空間情報**という。訪ね歩いた観光地で撮影した写真や, お気に入りの店舗など, 日常生活のさまざまな事象も, 位置情報と組み合わせれば地理空間情報になる。

こうした地理空間情報を位置情報をもとに地図上に重ね合わせ, 分析, 管理するシステムを**地理情報システム(GIS)**とよぶ。重ね合わせるには, 情報を種類ごとに区分け, 記録するレイヤ(層)が使われる。例えば, 顧客の分布は点データ, 鉄道や道路は線データ, 建物や行政区分は面データとして, 別々のレイヤに記録される(図3)。そこから, いくつかのデータを取り出し, 重ね合わせることでその地域の傾向や特性を分析することができる。



↑3 地理情報システム(GIS)のしくみ
点・線・面をあらわす数値データを, 空中写真の画像や土地利用など, 格子状の情報をもつラスタデータと組み合わせることで, より詳細な分析ができる。

GNSSのしくみ
地理情報システムに必要な位置情報を得るために, 人工衛星を利用した**全球測位衛星システム(GNSS)**が運用されている。上空からの信号を受けて地球上の現在位置を測定するシステムで, アメリカが開発した**GPS**もその一つである。GNSSの測定には最低4基の人工衛星からの受信が必要であるが, 日本は準天頂衛星「みちびき」を打ち上げ, 高層ビルや山に囲まれた地域でも信号が妨害されることなく, 正確な位置を測定できるようになった(図4)。

地理情報の活躍
自動車のカーナビやスマートフォンの地図アプリを使い, 渋滞や電車の遅延の状況をリアルタイムで確認するなど, GNSSは日々の生活に欠かせないものになっている。GNSSの精度向上による農業用トラクターの無人走行や, 自動車の自動運転の開発も進んでいる(図4)。また, 企業では位置情報を含む顧客データの蓄積を進めており, GISはマーケティングなどの経営分析に活用されている(図5)。また, スピーディに情報の検索や共有ができることから, 災害時には避難所や救援物資の状況を地図上に一元管理して公開するなど, さまざまな分野への展開が期待されている。

トピック
位置情報ゲーム

スマートフォンの位置情報機能を利用したゲームが人気をよんでいる。実際の地図をベースに, ユーザーの現在位置や動きに応じてゲームが進む。例えば, 日本各地を移動しながら陣地を獲るスタンプラリー方式のものや, 特定の位置に着くとキャラクターがあらわれ対戦するものなど, さまざまな種類のゲームが配信されている。



↑6 位置情報を利用したゲーム

地球儀ソフトの活用

インターネットを使った地球儀ソフトでは、世界中の衛星写真をまるで地球儀を回しているかのように閲覧できる。自分の好きな地点を自由に選び、拡大し、さらに立体的に表示することもできる。世界遺産に登録されているフランスのモンサンミッシェルを、地球儀ソフトを使ってのぞいてみよう。



↑1 対岸からみたモンサンミッシェル修道院(2019年撮影)

モンサンミッシェルの活用例

地名、施設名、経緯度、住所などを入力して検索

定規を表示

印刷、画像の保存

地図の回転や傾斜を行う
Nを押すと、北が上になるよう表示が戻る

視点の移動

閲覧機能

ズームイン(拡大)とズームアウト(縮小)

3D表示や地形をチェックしておく、ズームインした際に立体表示に

教室にいながら世界へジャンプ
生徒自らデジタル地図を使いこなせるよう、丁寧に解説。多様なTryも用意しました。パソコンでもスマートフォンでも表示が可能です。地球儀ソフトの活用により授業の幅が広がります。

カーソルのさす地点の経緯度と標高

スケール

撮影年次

Google Earth

視点の高度

↑2 GoogleEarthのメニューと機能

緯度と経度での検索
N48 38 10, W1 30 40

島の周囲の距離を測ってみよう

定規を表示して、地点や範囲を指定すれば距離や面積を計測できる。飛行機のルートなどの長距離や、駅から学校までの通学路など、さまざまな縮尺で距離を測ることができる。

島内をめぐってみよう

閲覧機能に切り替えると、実際に現地に立っているかのように道をたどることができる。360度パノラマで撮影された映像画面で、進む方向をクリックして移動してみよう。

Try 緯度経度により検索してみよう
検索をかけると、画面がそこに移動する。地名や施設名のほか、緯度と経度や、住所でも検索できる。名称が類似した複数候補がヒットする場合は国名などと合わせて検索しよう。

Try 島の周囲の距離を測ってみよう
定規を表示して、地点や範囲を指定すれば距離や面積を計測できる。飛行機のルートなどの長距離や、駅から学校までの通学路など、さまざまな縮尺で距離を測ることができる。

Try 島内をめぐってみよう
閲覧機能に切り替えると、実際に現地に立っているかのように道をたどることができる。360度パノラマで撮影された映像画面で、進む方向をクリックして移動してみよう。

地理院地図の活用

地理院地図は、国土院が運用しているウェブ地図サービスで、地形図、写真、土地の特徴、災害情報など、さまざまな地理情報を重ね合わせながら閲覧することができる。日本有数の夜景ポイントといわれる函館山を、地理院地図を使ってのぞいてみよう(▶p.50「地形図の基礎」)。

函館山の活用例

検索バー 地名・住所・経緯度
経緯度検索は「[°度△分□秒] (60進法)と入力

ベースマップ
背景地図を標準地図や淡色地図などから選択

地図の種類
年代別の写真
全国の連続した空中写真や過去の衛星画像
標高・土地の凹凸
標高別色分けや陰影地図自分で塗り分けも可能
土地の成り立ち・土地利用
土地条件や地形の分類、活断層など
基準点・地磁気・地殻変動
基準点を大きく表示
災害伝承・避難場所
近年の災害
大規模な災害があった際関連する地図を掲載
その他

ズームイン(拡大)とズームアウト(縮小)

その時点でのスケール

位置情報
カーソル付近の住所や経緯度、標高などを表示

上欄で選択した地図の表示の状態
重ねた地図の表示の切り替えや、透過率、重ね合わせの順番を設定
地図の凡例などの詳細情報も示す

断面図を作成

表示付近の地形を3Dで表示

作図・ファイル
点・線・面や文字などを描く

計測
地図上で距離や面積を計測

二つの地図を2画面に並べたり重ねて表示する

Globe
3Dにした地図を地球儀のように連続して配置

↑3 函館山から見下ろす函館の町(北海道, 2019年撮影)

↑4 地理院地図のメニューと機能

函館山の断面図をつくってみよう

地理院地図上で、機能メニューから断面図を選択して任意の地点を設定し、断面図を描くことができる。距離と標高の比率を変えることで、高さを誇張して表現することもできる。

港~ロープウェイ乗り場の距離を測ろう

地球儀ソフトと同様に、地理院地図上でも距離や面積を計測できる。機能メニューからツール→計測と選択し、任意の地点を指定すれば、距離や面積を計測できる。

函館山を3Dでみてみよう

3D機能を使うことで、上空から眺めるように地形を立体的に把握できる。機能メニューの3Dを選択し、さまざまな角度から起伏を眺めてみよう。

自分の住む地域を、さまざまな地図でのぞいてみよう。断面図や距離計測、3D表示もおもしろいよ。

教科書の二次元コードを読み取ると、インターネットを使って、動画やデジタル地図のほか、学習に役立つサイトを見ることができます。



↑1 地震発生による運転の見合わせ(大阪府北部地震、2018年6月撮影)



↑2 物流が止まり空になるスーパーの棚(福井市、2018年2月撮影) 記録的な大雪のため生鮮品や惣菜などの品薄が続いた。

都市で災害が発生すると、
どのような被害がおこるのかな？



トピック
Topic

液状化現象はどこでおこる？

大きな地震がおきると、地盤の液状化現象によって、住宅が傾いたり、マンホールが浮き上がったり、水道管やガス管が破裂したりするなどの被害が出る。東北地方太平洋沖地震では東京湾の埋立地のほか、関東平野の内陸部でも液状化現象が発生した。

図5の利根川中流沿いの液状化が発生した地点をみてみよう。地形分類(図6)と比較すると、液状化した地点の多くが利根川の支流や蛇行した旧河道(以前の利根川の流路)だったことがわかる。この地域では水害を軽減するために流路が改修され、旧河道は砂で埋め立てられて水田や住宅地になった。2018年の北海道胆振東部地震での液状化の被害も内陸のかつての谷を埋め立てた造成地だった(▶p.182写真4)。地理院地図の土地利用図や治水地形分類図などを使って、土地がどう改変されてきたかを確認しておく必要がある。



↑5 東北地方太平洋沖地震での液状化の発生地点(香取市、2011年3月撮影)



↑6 図5と同じ範囲の地形の特徴(千葉県香取市、茨城県稲敷市)



↑3 東日本大震災時、自宅に急ぐ人と車の渋滞の列(左)と、帰宅できずに避難所に宿泊する人々(右)(東京都、2011年3月11日撮影) 交通機関が不通となり、首都圏では500万人をこえる帰宅困難者が発生した。学校やホールなどが避難所として開放された。



都市の流れ

- ① 自然災害が都市特有の被害を引き起こすことを認識する。
- ② 都市で発生した自然災害が社会・経済に与える影響を整理する。
- ③ 都市における地震や浸水に対する対策を調べる。

5 都市型災害と防災
都市型災害に備えるには？

都市型災害の発生 人口が集中する都市部で災害が発生すると、どのような被害が

運行が停止して帰宅困難者が増える

されたりする(写真1)

にも、的確な判断が

学習してきた災害に

社会・経済への影響 大都市圏や人口密集地では、インフラや建

規模な被害が出る

急速に被害が拡大するおそれもある。インフラや建築物の老朽化、住

民の高齢化による孤立も災害リスクを高める要因になっている。

中・長期的にみると、都市型災害は社会や経済に与える影響がきわめて大きい。幹線道路や鉄道が寸断されるため、交通や物流が途絶える。食料品や日用品が不足し、救援活動に支障が出る(写真2)。長期化すると、都市に集まるさまざまな機能が停滞して、生産やサービス、経済活動が機能しなくなる。こうした影響は被災地だけでなく、ほかの地域にまで広がっていく。

自然災害の特徴を知り、
防災に役立てる

風水害、火山、地震・津波、さらに都市型災害を取り上げ、その特徴と過去の状況、今後の対策を考察させます。

地形図やハザードマップの読図、節最後にはフィールドワークも設定。自分の住む地域について考える機会をつくります。

トピック
Topic

災害のときのSNS情報

災害発生時に被害を最小限に抑えるには、迅速かつ正確に情報を収集し、伝達・共有する必要がある。東日本大震災をきっかけに、災害発生直後の状況をリアルタイムで発信したり、伝言板や掲示板で安否を確認したりするなど、SNSが有効に活用されている。しかし、デマや虚偽の情報が意図的に流されることもあるため、注意しなければならない。



↑4 SNSでの防災情報の確認

都市生活への
地震被害と対策

内陸の活断層でおこる地震では、震源が人口密集地に近いほど、建物の損壊や延焼火災の被害が大きくなる。巨大地震がおこるたびに耐震基準が見直され、建物の強化が進められてきた。現在、耐震基準を満たすだけでなく、揺れを伝えない免震や、揺れを吸収する制震に対応した建物も増えている(図7)。また、規模の大きい地震では数秒から十数秒の間隔でゆっくりと揺れる長周期地震動が遠くまで伝わる。高層建物は共振しやすく、大きな揺れが長く続く(図8)。道路や鉄道、港湾は、震災時の救助活動や輸送のルートとして特に重要で、耐震化が進められている。

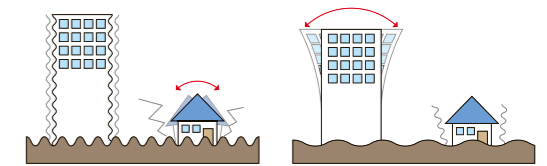
都市生活への
浸水被害と対策

都市部では道路がアスファルトで舗装されると、日中の太陽熱を蓄え、夜でも気温が下がらない。さらに、自動車や家庭から排出される熱も多く、気温が周辺地域よりも高くなるヒートアイランド現象がおきている。このように高温になると、上昇気流により大気が不安定になり、巨大な積乱雲でゲリラ豪雨とよばれる局地的大雨がおきることがある。舗装された道路は雨水が地下に浸透しにくいので、短時間で道路や住宅が冠水し、地下街や掘り下げた道路(アンダーパス)は一気に浸水してしまう。こうした都市特有の浸水被害への対策として、大雨時に一時的に水を貯める遊水地や地下貯水施設の整備が進められている(写真9)。

地図を防災に活かす

地形図やハザードマップなどを豊富に示し、災害を考察する具体例を充実させました。自分の住む地域でも活用できるよう、地理院地図からの引用を充実させました。

↑7 建物の耐震・免震・制震構造



↑8 地震動によるビルの揺れ方 [出所：気象庁資料]



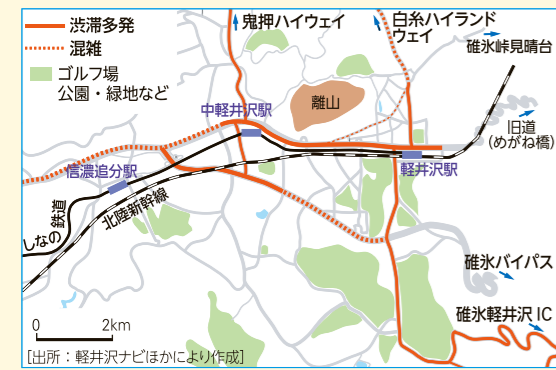
↑9 地下20mにつくられた首都圏の大雨時用の貯水施設(埼玉県春日部市、2018年撮影) 大雨で増水した河川の水を一時的に貯めることで、洪水による浸水被害を軽減する。



夏の軽井沢では、どうして渋滞がひどくなるのだろうか？

自分の住む地域の課題は？
 どこの地域においても、テーマ設定や調査実践がスムーズに行えるよう、資料の活用方法や調査の手法について丁寧に解説しています。
 資料：RESAS, 地理院地図, 今昔マップ
 手法：統計の分析, インタビュー

↑1 旧軽井沢銀座通り(上)と大渋滞の車道(2019年撮影)



↑2 夏のピーク時の軽井沢の交通渋滞

↑3 浅間山の裾野に広がる軽井沢(2016年11月撮影) 明治末期に避暑地として開発され、戦後の別荘ブームを経て、現在は夏の観光地になっている。

連休や夏休み時期のひどい渋滞。なんとかならないかな

地元の人たちにとっては住みづらいよ

渋滞にうんざりして、観光客は来なくなるんじゃないかな？

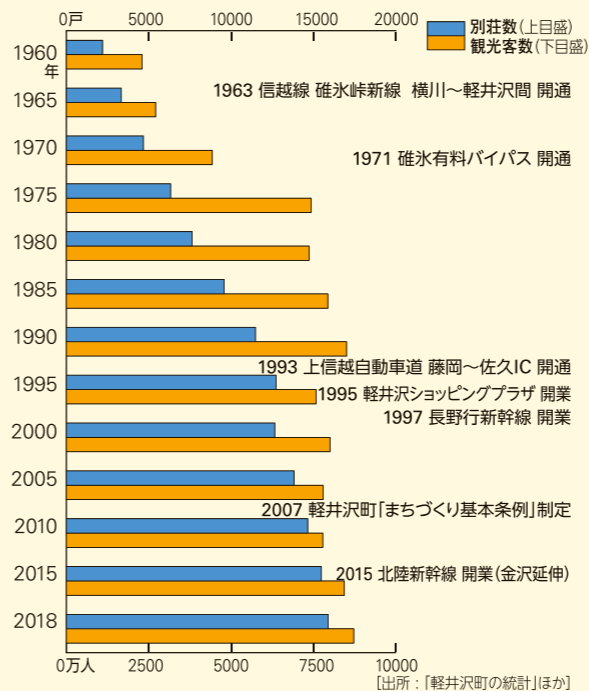
さらに観光地化を進めないと、町が元気になるじゃない？

観光客にとって軽井沢はどのような存在？

どのページにも高校生のキャラクターが登場。素朴な疑問や自分の考えを語り、紙面に臨場感が広がります。

軽井沢 観光開発の流れ

江戸時代	中山道の宿場町として栄える
1886(明治19)	カナダ人の宣教師が山荘を建設、別荘地発展のはじまり
1894(明治27)	碓氷アプト式鉄道 軽井沢～横川間 開通 西洋式ホテル建設
1918(大正7)	草軽鉄道 軽井沢～地蔵川(後に北軽井沢)間 開通
1923(大正12)	東長倉村から軽井沢町に名称変更 保養地として成長
第二次世界大戦後	ゴルフ場やレジャー施設など大規模開発が進行



↑4 軽井沢の観光客数・別荘数の推移と軽井沢発展の歴史

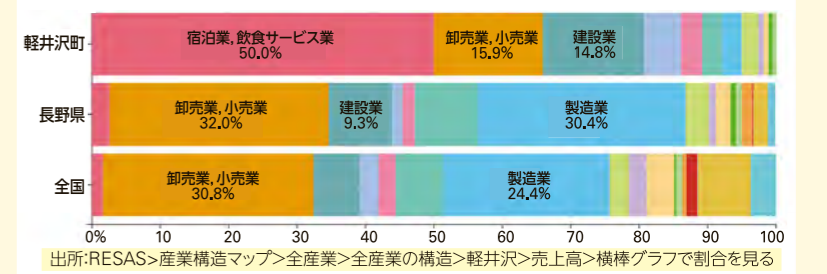
4章2節 持続可能な地域づくり

授業ページ

事前調査① 軽井沢の観光地としての発展

- 交通手段の変化…中山道の上信越自動車道が開通、鉄道は別荘が増加し、日本有数の別荘地に発展した。
- 別荘地としての発展…明治時代は別荘が増加し、日本有数の別荘地に発展した。
- 大型資本による開発…大型資本によりホテルやスキー場、ゴルフ場などが開発され、高速道路や新幹線による来客をねらいショッピングプラザが開業した。

事前調査② 軽井沢町の産業

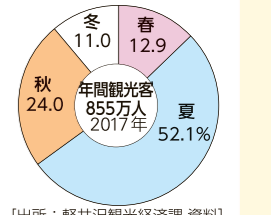


↑5 軽井沢・長野県・全国の産業別売上比率の比較(2016年)

○年間観光客数850万人、別荘数1万6000戸と、日本の代表的避暑地であるのに対し、町の人口は2万人。

○軽井沢の産業別売上を全国平均や長野県と比較すると、宿泊業・飲食サービス業が全体の半分以上を占め、観光関連の割合がひじょうに高い(図5)。

○季節別観光客数を見ると、夏が半数以上を占めており、観光収入に季節的な偏りがある(図6)。



↑6 季節別の観光客数

事前調査の手引き

- ① 地域の課題を整理して、調査テーマを設定する。
- ② 事前調査に必要な統計や資料を調べる。
- ③ 事前調査をもとに仮説を立てる。

事前調査の手引き 地図

地域の大まかなようすや変遷を知りたいときは、各時代の地図や地形図、住宅地図、空中写真などが役立つ。地図は地域調査の基本になるため、事前調査の段階でいろいろな地図を用意しよう。紙の地図は役所や図書館で閲覧できる。インターネットでの地図は、p.194, 198, 199を参考にしてみよう。

2 事例 地域調査① 軽井沢の課題 調査テーマの設定と事前調査の方法は？

地域の課題の発見 観光客集中と混雑

軽井沢は、お盆や行楽シーズンに観光客が押し寄せて大渋滞になるが冬は閑散としている。軽井沢の高校生は、「観光客が一時期に集中するのは、地元住民にとっても観光客にとっても好ましくないのではないかと考えた。

調査テーマの設定 観光地化による課題

地域の課題をみつけたら、そのなかから調査するテーマを決めよう。軽井沢の高校生は、調査テーマに「観光客の一時の過度な集中が軽井沢にどのような影響をおよぼしているか」を設定した。一般的に、観光地は一人でも多くの観光客に来てほしいと考えているが、許容量をこえると、渋滞やゴミ問題、マナー違反などがおきやすくなる。人混みにより、自然環境が壊されるなど深刻な問題がおきているところも出てきている。

事前調査 統計・資料による調査

軽井沢が現在のような観光地になった経緯や現状を知るために、役所の観光経済課で町の紹介資料と、観光客や産業についての統計資料を入手した。統計で数値の変化を調べたり(図4)、ほかの地域と比較することで軽井沢の特徴もみえてくる(図5)。軽井沢は、明治時代から日本でも有数の別荘地として発展してきた。新幹線や高速道路が開通し、スキー場やショッピングプラザができて観光客が増大した。一方、年間観光客850万人のうち、夏・秋が4分の3以上と、季節による偏りが大きい(図6)。

仮説の設定 観光開発の是非

事前調査を踏まえ、「観光客が一時期に集中して渋滞するのは軽井沢の観光地としての魅力を損ねているのではないかと仮説を立て、A班は観光客側に対し「観光客は何を求めて夏季の軽井沢に集中するのか」、B班は地元住民に対し「地元住民も満足する観光はどんな形か」を調査することにした。

地域調査のために必要なスキルを、手順を追って具体的に解説します。

KJ法, 地図, 資料編, 景観観察, アンケート調査と聞き取り調査

事前調査の手引き 資料編

現地調査を始める前に、まず、役所や図書館、郷土資料館に行ってみよう。役所にはさまざまな部署があり、その自治体の状況を把握している。郷土資料館がない場合は、図書館にある郷土資料コーナーに行ってみよう。そのほか、役所や省庁のホームページからもさまざまな情報が得られる。

調査項目	資料
人口, 農産物の生産量 工業出荷額, 観光客数	市勢要覧 役所の部署の統計
歴史的な産業や生活の発展 地名の変化や由来	郷土資料 新聞縮刷版, 古地図

わたしたちの地理総合 指導者用デジタル教科書

地総 705 準拠

電子黒板やプロジェクターなどでご利用いただく、指導者用のデジタル教科書です。学習者用と共通の専用ビューアは直感的に使いやすく、授業に便利な機能も豊富です。さらに、地理ならではのツールやリンクなども充実しています。

校内フリーライセンス
 [単品 1年版] 定価：13,200円 (税込)
 [単品 4年版] 定価：49,500円 (税込)



学習者用デジタル教科書

地総 705 準拠

定価：1,100円 (税込)、1ユーザー1ライセンス

学習者用の端末でご利用いただく、生徒用のデジタル教科書です (1ユーザー1ライセンス)。指導者用と共通の専用ビューアにより、スムーズなページ遷移、紙面の拡大表示、書き込みが可能です。書き込みはユーザー個人ごとに保存できます。



写真をクリックすると拡大表示されます



デジタル教科書商品概要

デジタル教科書の提供・表示ビューアの基盤となるシステムとして「みらいスクールプラットフォーム」(<https://www.mirai-school.jp/platform/>)を採用しています。

●ライセンス体系 / 動作環境 / 提供方法 / おもな機能について

	指導者用デジタル教科書 (教材)	学習者用デジタル教科書 (教材)
ライセンス体系	学校内フリーライセンス ご購入いただくことで、学校内の指導者用端末でご利用が可能です。ライセンスは原則として年度ごと (4月～翌3月) となります。	1ユーザー1ライセンス 必要な人数分のライセンスをご購入いただき、学習者用端末でご利用ください。ライセンスは原則として年度ごと (4月～翌3月) となります。
利用者端末動作保証環境	<ul style="list-style-type: none"> iPad OS ブラウザ：Safari Chrome OS ブラウザ：Google Chrome Windows 8.1/10/11 ブラウザ：Microsoft Edge・Google Chrome ※上記のOSとブラウザはクラウド版利用時。インストール版は、Windows対応のアプリケーションソフトでブラウザに依拠しません。	
提供方法	<ul style="list-style-type: none"> クラウド版 (オンライン配信) 各利用者端末のブラウザから当社指定のクラウドサーバーにアクセスしてご利用ください。各端末へのインストールは不要ですが、ご利用の際にはオンライン環境が必要です。 インストール版 (DVD提供、1年版のみで使用中または次年度への更新はありません) DVD-ROMを各利用者端末に直接インストールしてご利用ください。インストール後はオフライン環境でのご利用も可能ですが、外部リンクにアクセスする際にはオンライン環境が必要です。(DVDはWindows対応のみです) 	
おもな機能	<ul style="list-style-type: none"> デジタル紙面の閲覧、拡大表示、ページ送り、用語検索 ペン、マーカー、スタンプ、消しゴムを利用した書き込み / 削除 編集した紙面データをユーザーごとに保存 しおり、ふせん、タイマー (ストップウォッチ)、ポインター 外部リンクへのアクセス (紙の教科書の二次元コードや独自コンテンツに対応) 	

紙の教科書をご採用いただいた場合に限り、対応する「学習者用デジタル教科書 (教材)」「指導者用デジタル教科書 (教材)」のライセンスをご購入いただくことが可能です。

ビューアの基本機能

機能① ズーム表示

紙面の一部を範囲指定して画面を拡大表示することができます。

機能② 用語検索

用語を入力して掲載ページを検索、すぐに表示させることができます。

機能③ ページ遷移

目次や通常のページ送り、ページ番号を入力することによるジャンプ機能があります。

機能④ ペン・マーカー / 図形・スタンプ

「色」「太さ」「透明度」の設定は自由に変更可能。丸や四角、矢印も簡単に配置でき、大きさも自由自在です。

機能⑤ けす・消しゴム

機能④で描いたものの全削除のほか、「消しゴム」機能で書き直しもスピーディーに。

機能⑥ どうく

タイマー・ストップウォッチや紙面に貼り付けて書き込みができる「ふせん」、自分でURLを紙面と関連づける「リンク」などで授業をサポート。

機能⑦ 記録 / 表示機能

描いた紙面を保存したり、紙面を白黒反転したりすることができます。



レイヤ切替

地球儀ソフト

地理授業用の独自機能



地理院地図 (18リンク)

掲載している地形図を地理院地図で表示します。地理院地図の機能でさらに調べることができます。



リンク情報 (24リンク)

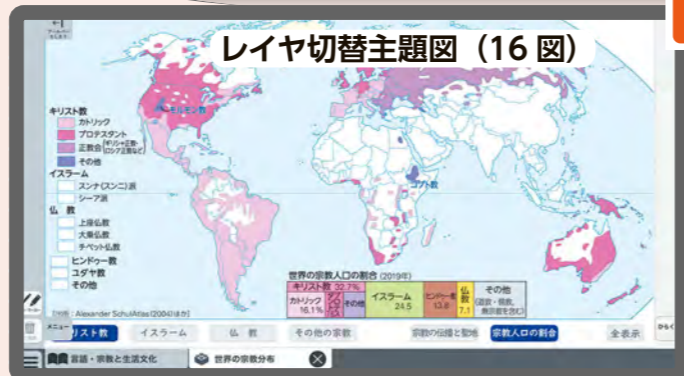
教科書内容に関連するリンク先へジャンプ。授業を深めることが可能です。



GoogleEarth Studio 動画

典型的な小地形を、上空から俯瞰したり、旋回や接近したりしながら解説。地形の特徴や土地利用への理解が深まります。

レイヤ切替主題図 (16図)



代表的な主題図を、表示する要素を切り替えながら見ることができます。表示したい要素を凡例で選択すると、図の塗り分けが変わります。

GoogleEarth プロジェクト (12テーマ)



GoogleEarthで、教科書の掲載写真の撮影ポイントにジャンプしながら、解説を示すことができます。

わたしたちの地理総合 ワークブック

地総 705 準拠

B5判・88頁 定価：605円(税込) 別冊解答付

教科書に準拠し、基礎知識が身につく
授業の予習や復習に、毎時間活用できるワークブックです。

▼教科書 p.62-65 に対応したページの例



1 節 7 季節の違いに対応した生活 8 寒冷な気候に対応した生活

教科書:p.62-65

Basic

⑦大陸の西岸と東岸で気候と暮らしはどう違うか？

a. 大陸西岸の気候の特徴

- ・(①) _____ = C) …中緯度でみられる。大陸西岸では緯度 30～60 度に分布
- ・(②) _____ = Cfb) …1 年を通じて適度の降水
- ・(③) _____ = Cs) …夏は亜熱帯高圧帯の影響で晴天、冬は多雨
→(④) _____) の影響…温暖のため、ヨーロッパは人々の活動の中心地

b. 大陸西岸の生活

- ・スコットランドの生活：(⑤) _____) …ウール素材で吸湿性と放湿性に富む
(⑥) _____) を使った住居…寒暖や強風に対応
- ・ヨーロッパの主食：パン・パスタ…(⑦) _____)：少雨でも栽培可能
(⑧) _____)：やせた土地でも栽培可能

c. 大陸東岸の気候の特徴

- ・大陸東岸…温帯は緯度 20～45 度に分布
- ・(⑨) _____ = Cfa) …1 年を通じて多雨
- ・(⑩) _____ = Cw) …雨は夏に多く冬に少ない
- ・(⑪) _____ = モンスーン) により夏は気温が上昇、冬は低下
→大陸西岸に比べて気温の年較差が大きい、台風の北上→暴風、洪水

d. 大陸東岸の生活

- ・日本の生活：伝統衣装の着物…麻や綿は通気性と吸湿性に富む
多い森林資源：(⑫) _____) …断熱性、保湿、吸湿性にすぐれる
- ・アジアの主食：米…降水量が多い東アジア～南アジアで栽培。小麦…北部や内陸部

⑧シベリアの寒さを乗り切る生活の工夫とは？

a. 亜寒帯・寒帯の気候の特徴

- ・(⑬) _____ (冷帯) = D) …ユーラシア大陸と北アメリカ大陸の北部に広く分布
→長くきびしい冬、比較的温暖な夏、気温の年較差大、短い夏にライ麦などを栽培
- ・(⑭) _____ = E) …北極海の周辺地域と南極大陸に分布
→低温で少ない降水量、やせた土壌 (=⑮) _____) 、ツンドラの大地

b. シベリアの亜寒帯の自然と生活

- ・(⑯) _____) …気温の年較差が大きい
- ・(⑰) _____) …樹種が少なく純林が多い針葉樹→林業に適する
- ・北流河川(オビ川・エニセイ川・レナ川など) …(⑱) _____) の発生

c. シベリアの寒帯の自然と生活

- ・(⑲) _____) …北極海沿岸に広がる、農業ができないためトナカイを遊牧
- ・(⑳) _____) …地球温暖化の進行により融解のおそれ

Words

亜寒帯 永久凍土 温帯 温帯冬季少雨気候 温暖湿潤気候 寒帯 季節風 キー 小麦
西岸海洋性気候 石材 タイガ 大陸性気候 地中海性気候 ツンドラ気候 偏西
ポドゾル 木造家屋 融雪洪水

穴埋め問題は最大20問

ページの下部に選択肢を設けているので、無理なく作業を進めることができます。

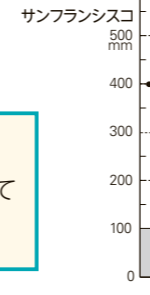
Work & Challenge

Work 次の気候表をみて、サンフランシスコ(アメリカ)とハバロフスク(ロシア)の雨温図を完成させ、それぞれ何気候になるか判定してみよう。

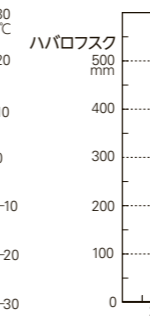
(太字は最高値、斜体は最低値)

都市名(標高)	気温 降水量	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	全年
サンフランシスコ(6.1m)	℃ mm	10.1	11.6	12.7	13.8	15.3	16.8	17.5	18.0	18.2	16.4	13.2	10.3	14.5
		100.7	105.8	70.3	32.3	14.4	3.1	0.1	1.1	4.4	22.8	58.6	103.5	517.1
ハバロフスク(76m)	℃ mm	-20.1	-15.3	-6.4	4.9	12.4	17.8	21.2	19.7	13.4	5.0	-7.5	-17.3	2.3
		13.7	10.8	18.3	43.8	57.2	66.9	128.1	143.0	87.7	53.7	27.3	13.4	663.9

雨温図



気候区： _____ 気候 _____



気候区： _____ 気候 _____

Challenge 次の2枚の写真は、その地点の自然環境に適した生活のようすをあらわしている。その地点の気候をヒントにして、気候の特徴と利用のようすをまとめよう。



写真1 油やし農園の輸出用の出荷準備(マレーシア、カリマンタン島)
熱帯雨林気候(Af)

1 節 7 季節の違いに対応した生活 8 寒冷な気候に対応した生活

教科書:p.62-65

Basic

⑦大陸の西岸と東岸で気候と暮らしはどう違うか？

- a. 大陸西岸の気候の特徴
 - ・(①) _____ = C) …中緯度でみられる。大陸西岸では緯度 30～60 度に分布
 - ・(②) _____ = Cfb) …1 年を通じて適度の降水
 - ・(③) _____ = Cs) …夏は亜熱帯高圧帯の影響で晴天、冬は多雨
→(④) _____) の影響…温暖のため、ヨーロッパは人々の活動の中心地
- b. 大陸西岸の生活
 - ・スコットランドの生活：(⑤) _____) …ウール素材で吸湿性と放湿性に富む
(⑥) _____) を使った住居…寒暖や強風に対応
 - ・ヨーロッパの主食：パン・パスタ…(⑦) _____)：少雨でも栽培可能
(⑧) _____)：やせた土地でも栽培可能

c. 大陸東岸の気候の特徴

- ・大陸東岸…温帯は緯度 20～45 度に分布
- ・(⑨) _____ = Cfa) …1 年を通じて多雨
- ・(⑩) _____ = Cw) …雨は夏に多く冬に少ない
- ・(⑪) _____ = モンスーン) により夏は気温が上昇、冬は低下
→大陸西岸に比べて気温の年較差が大きい、台風の北上→暴風、洪水

d. 大陸東岸の生活

- ・日本の生活：伝統衣装の着物…麻や綿は通気性と吸湿性に富む
多い森林資源：(⑫) _____) …断熱性、保湿、吸湿性にすぐれる
- ・アジアの主食：米…降水量が多い東アジア～南アジアで栽培。小麦…北部や内陸部

⑧シベリアの寒さを乗り切る生活の工夫とは？

- a. 亜寒帯・寒帯の気候の特徴
 - ・(⑬) _____ (冷帯) = D) …ユーラシア大陸と北アメリカ大陸の北部に広く分布
→長くきびしい冬、比較的温暖な夏、気温の年較差大、短い夏にライ麦などを栽培
 - ・(⑭) _____ = E) …北極海の周辺地域と南極大陸に分布
→低温で少ない降水量、やせた土壌 (=⑮) _____) 、ツンドラの大地
- b. シベリアの亜寒帯の自然と生活
 - ・(⑯) _____) …気温の年較差が大きい
 - ・(⑰) _____) …樹種が少なく純林が多い針葉樹→林業に適する
 - ・北流河川(オビ川・エニセイ川・レナ川など) …(⑱) _____) の発生

c. シベリアの寒帯の自然と生活

- ・(⑲) _____) …北極海沿岸に広がる、農業ができないためトナカイを遊牧
- ・(⑳) _____) …地球温暖化の進行により融解のおそれ

Words 亜寒帯 永久凍土 温帯 温帯冬季少雨気候 温暖湿潤気候 寒帯 季節風 キー 小麦
西岸海洋性気候 石材 タイガ 大陸性気候 地中海性気候 ツンドラ気候 偏西
ポドゾル 木造家屋 融雪洪水

作業と問題を右側ページに配置

教科書に掲載している図版(地図、グラフなど)を穴埋め形式にした「Work」と、教科書には掲載していない応用問題となる「Challenge」を用意しています。さまざまな作業を通して、地理的知識・技能を身につけることができます。

2章
1節

自然環境と生活文化

バラエティ豊かな紙面

教科書に掲載していない写真も多く取り上げ、視覚的にも賑やかな紙面構成となっています。



穴埋め形式による「内容の整理(Basic)」を左側ページに配置
左ページの下欄「Words」に、空欄の選択肢を用意しました。穴埋めにより地理用語を整理させ、基礎知識の定着を図ります。

欄外には自由書き込み欄
欄外には生徒が自由に書き込みを行えるよう罫線を引いてあります。



ふりがなを充実
教科書本文でふっているふりがなは、ワークブックでもつけています。難解な漢字があっても無理なく作業ができます。

教師用朱書き解答を用意
ワークブックのご採用校向けに、解答・解説入りのPDFデータをご用意しています

わたしたちの地理総合 教師用指導書+指導者用デジタル教科書

地総 705 準拠

定価：39,600円(税込)/DVD-ROM2枚付

① 教師用指導書 朱書き編

AB判・208頁・2色刷

※朱書き編は定価4,400円(税込)にて分売しています。



- ポイント① 「学習の流れ」をスムーズに!**
発問からまとめまで、1授業時の主題型展開をわかりやすく提示。
- ポイント② ここに着目! 図や写真、本文のポイントを提示**
朱書きにより、図や写真、本文の着目点の解説や考察のヒントを充実。
- ポイント③ 学習をより発展的に! 地理からの視点を提示**
身近な話題から世界の課題まで、問いかげや解答例、解説を充実。

内容見本

授業ページ

1 農業の地域性
農業地域はどのように生まれるか?

導入(5分) 学習の目的や単元を説明し、農業の重要性を伝える。

展開(120分) 農業の地域性を理解し、農業の発展に貢献する。

まとめ(5分) 学習の振り返りを行い、農業の重要性を再確認する。

各単元で生徒が気づき、理解してほしい「ねらい」を示しています

板書例

- ① 自然条件と農業の地域性
 - ・気候
 - ・地形
 - ・水
 - ・土壌
 - ・気候・地形・水・土壌
- ② 社会条件と農業の地域性
 - ・人口
 - ・交通
 - ・市場
 - ・労働力
 - ・人口・交通・市場・労働力

「導入の問いかけ」の補足

農業の地域性はどのように生まれるか?

農業の地域性は気候、地形、水、土壌などの自然条件と、人口、交通、市場、労働力などの社会条件によって形成される。

板書例はPowerPointでも用意しています(DVD-ROMに収録)

フィードバック

生徒の理解を確認し、必要に応じて補足説明を行う。

各ページの冒頭にある問いかけについて補足し、生徒の興味や関心を促します

農業の地域性はどのように生まれるか?

農業の地域性は気候、地形、水、土壌などの自然条件と、人口、交通、市場、労働力などの社会条件によって形成される。

教科書の「まとめよう」の模範解答例を載せています

農業の地域性は、自然条件と社会条件によって形成される。

アクティビティページ

統計の読み取り

産業の構造から経済をみてみよう

世界の主要国のGDPや人口を比較し、産業の構造から経済の発展を考察する。

参加型の探究学習を行う節末の「アクティビティ」では、グループ活動などの進行や活動例を具体的に示します。

実際の活動のスライドや評価規準、ワークシートはDVD-ROM中のもをご活用ください。

② 教師用指導書 解説編

B5判・120頁・1色刷

※地理総合2冊の教科書で共通の内容となっています。

地総704,地総705の該当ページ

ポイント① 地理総合の全分野を網羅

国際理解では全系統分野と10事例地域を解説、汎用性の高い内容構成。

ポイント② 地理総合の基本となる

用語・事項をより丁寧に解説

わかりやすく簡潔な解説により、地理専門外の先生をしっかりとサポート。

ポイント③ 授業を発展的に深め、広げる

地理的トピックを充実

教科書に書ききれなかった地理的な背景や現在の動向などを詳しく解説。

6 ヨーロッパ

地総704 p.128-137
地総705 p.62-63, 112-117

1 自然環境
ヨーロッパの地形は、北緯30度から北緯60度の間にあり、北緯30度の緯度線が南緯30度の緯度線と対称的に分布している。北緯30度の緯度線は、地中海と大西洋を結ぶ。北緯60度の緯度線は、北極圏と南緯60度の緯度線と対称的に分布している。北緯30度の緯度線は、地中海と大西洋を結ぶ。北緯60度の緯度線は、北極圏と南緯60度の緯度線と対称的に分布している。

2 経済・社会・文化
ヨーロッパの経済は、高度な工業化とサービス業の発展によって支えられている。ヨーロッパの文化は、多様な民族と言語の融合によって形成されている。ヨーロッパの社会は、民主主義と人権の尊重によって支えられている。

3 今後と課題
ヨーロッパは、高齢化と移民の増加によって社会構造が変化する。ヨーロッパは、気候変動とエネルギー問題によって環境問題が深刻化する。ヨーロッパは、経済格差と社会不安によって社会問題が深刻化する。



③ 教師用指導書 コンテンツDVD-ROM

※DVDには地理総合2冊分の教材を収録しています。詳細については次ページに紹介します。

	教材	形式	内容
教科書教材	シラバス/評価規準	Excel	教科書のシラバス・評価規準を収録。学校のカリキュラムに合わせて加工可能。
	教科書紙面PDF	PDF	教科書全ページの紙面をPDF形式で収録。
	本文テキスト	テキスト	教科書本文、コラム、図表解説のテキストデータをプレーンテキスト形式で収録。
	授業用スライド	PowerPoint	授業1時間の流れをPowerPoint形式で収録。教科書の展開に合わせて図・写真などを配置。授業に合わせたアレンジが可能。リモート授業の際にも活用できる。 地総705:66ファイル
	教科書図版集	PNG画像	教科書掲載の全ての図版ついて、カラー、モノクロ、モノクロ文字なしの3種類の画像で収録。文字なし画像はプリントや問題作成に便利。 対象:258図
準拠教材	定期考査問題例	Word	教科書単元ごとに、教科書に沿った定期考査の問題例をMicrosoft Word形式で収録。定期考査や小テスト用にアレンジが可能。
	アクティビティ教材	PDF PowerPoint Word	教科書を活用して探究活動を行うアクティブラーニング教材。指導の手引きや進行用のスライド、生徒用のワークシート、評価規準表などを収録。グループでの対話やプレゼンテーションなど、主体的な学習をサポート。 地総705:12テーマ
	授業用ワークシート	Word, PDF	教科書中の作業を配布用プリントとして収録。読図や色ぬりの作業問題は解答例も掲載。 11シート
	レイヤー切替主題図	PDF	教科書掲載の主要な主題図を、凡例ごとに切り替えて表示させるPDFファイル。 6図
共通	準拠版ワークブック	PDF	準拠版ワークブックのPDFファイルを収録。
	一問一答	Word	教科書掲載の重要な地理用語への一問一答形式の設問。授業に合わせ抜粋・修正が可能。 計1066問
	白地図	PNG画像	白地図の画像データを収録。 世界6図、大陸53図、大州52図、国76図、日本50図



教師用指導書 コンテンツDVD-ROM 内容紹介

※DVDには地理総合2冊分の教材を収録しています。

教科書紙面PDF

高解像度の教科書紙面PDFを収録。



PDF画像を拡大すると、写真の細部まで詳細に表示できます。



授業用スライド

1時間の授業の流れをPowerPoint形式で収録。

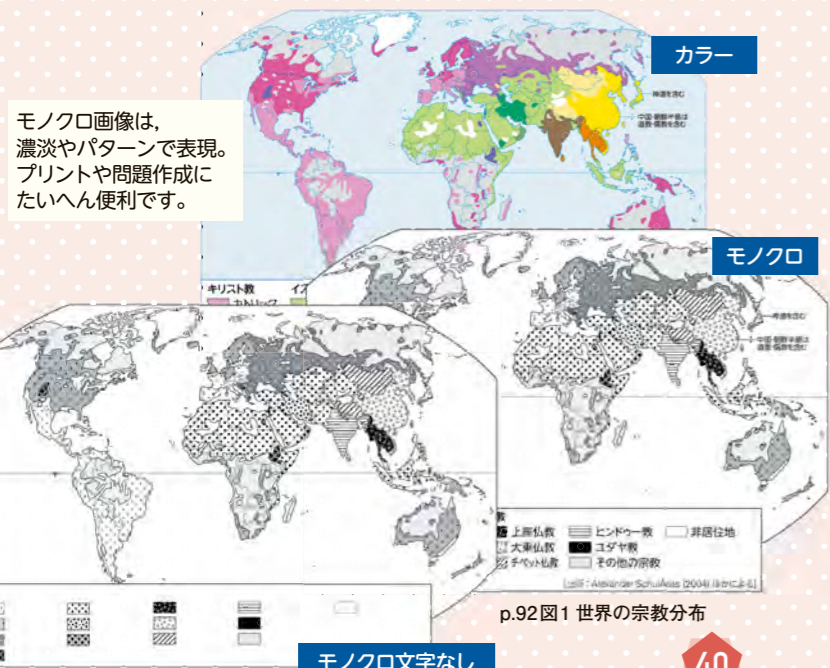


教科書掲載の図・写真を配置。これをもとに、オリジナルのスライドを自由に編集可能。



教科書図版集

教科書掲載の全ての図版について、カラー・モノクロ・モノクロ文字なし画像を用意。



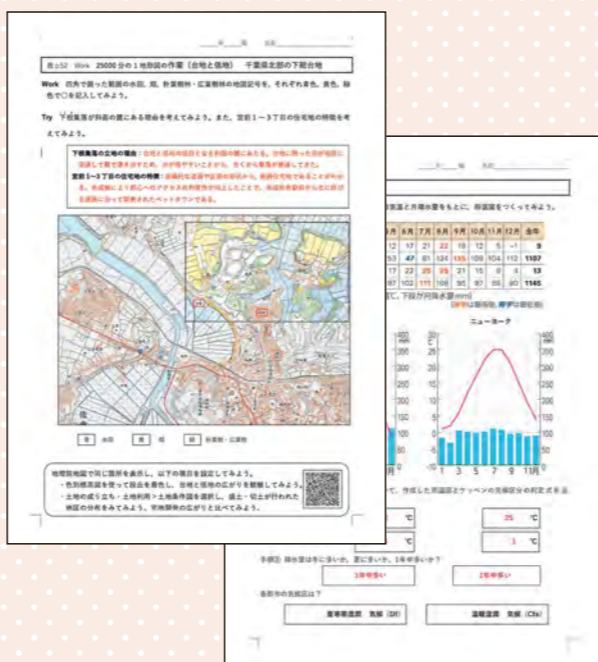
モノクロ画像は、濃淡やパターンで表現。プリントや問題作成にたいへん便利です。

p.92図1 世界の宗教分布



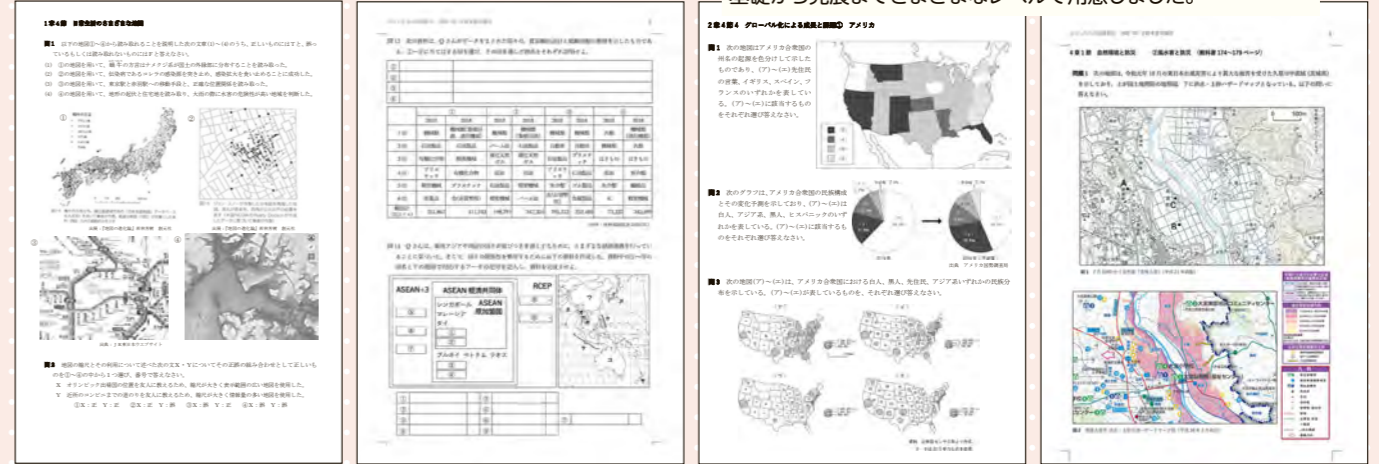
授業用ワークシート

教科書中の雨温図作成や地形図の作業などを配布用プリントの形式で収録。



定期考査問題例

教科書単元ごとに、教科書に沿った定期考査問題例をMicrosoft Word形式で収録。定期考査や小テスト用に改変が可能。



「日常生活のさまざまな地図」

「工業化による生活の変化 東南アジア」

「グローバル化による成長と課題 アメリカ」

穴埋めや選択式・記述式などのバラエティ豊かなタイプの問題を、基礎から発展までさまざまなレベルで用意しました。

アクティビティ教材

教科書の内容に即した多彩なアクティビティについて、進行用の教材を用意しました。グループ活動やワークシートの作成、発表を通して、生徒が主体的に学ぶことができるよう資料を充実させています。



指導の手引書

生徒用ワークシート

進行用スライド (指導用コメント付き)

全12タイプのアクティビティ

地図の作成	フォトマップの作成
フォトランゲージ	住居の写真から自然環境の読み取り
統計の読み取り	産業構造から経済の発展を考察
ケーススタディ	外国人々々との交流を考察
プレゼンテーション	市場分析と新製品企画
ダイヤモンドランキング	食料問題への国際協力の考察
ディベート	郊外への出店計画の賛否
ディスカッション	発電政策の長所短所の分析と討論
ロールプレイング	越境する環境問題について討論
因果関係図	SDGs 17の目標の関連性の考察
フィールドワーク	流域を歩き、防災を考える
インタビュー・取材	地域活性化の取り組みの調査

各アクティビティには、「思考力・判断力・表現力」に「主体性」を追加した四つの観点別のルーブリック方式の評価規準表を用意しました。評価は、[S/A/B/C]の4段階に分け、評価Cの生徒に対する手立ても掲載しています。

	S	A	B	C
思考力	電り出す国の自然環境や宗教、生活スタイルに加え、経済・観光状況や人口動態の変化など、より多面的に分析し、商品のコンセプトや内容、セールスポイントを検討した。	電り出す国の自然環境や宗教、生活スタイルから、商品のコンセプトや内容、セールスポイントを多面的に検討した。	電り出す国の自然環境や宗教、生活スタイルから、商品のコンセプトや内容、セールスポイントを多面的に検討した。	商品のコンセプトや内容、セールスポイントを十分に踏まえて、電り出す国の地域特性を十分に踏まえて、商品のコンセプトや内容を検討し、発表した。
判断力	考えた企画書が電り出す国の特徴に合致しており、需要などを満たしているが、教科書や地図帳、その他資料から様々な資料から根拠を得た。	考えた企画書が電り出す国の特徴に合致しているが、教科書や地図帳、その他資料から根拠を得た。	考えた企画書が電り出す国の特徴に合致しているが、教科書や地図帳、その他資料から根拠を得た。	考えた企画書が電り出す国の地域特性を十分に踏まえて、商品のコンセプトや内容を検討し、発表した。
表現力	電り出す国の自然環境や宗教、生活スタイルに加え、経済・観光状況や人口動態の変化など、より多面的に分析し、商品のコンセプトや内容、セールスポイントを検討した。	電り出す国の自然環境や宗教、生活スタイルから、商品のコンセプトや内容、セールスポイントを多面的に検討した。	電り出す国の自然環境や宗教、生活スタイルから、商品のコンセプトや内容、セールスポイントを多面的に検討した。	商品のコンセプトや内容、セールスポイントを十分に踏まえて、電り出す国の地域特性を十分に踏まえて、商品のコンセプトや内容を検討し、発表した。

評価規準表 ルーブリック方式



デジタル教材・副教材

新デジタル地図帳 Ninomap

DVD-ROM提供 定価：5,500円(税込)

【動作環境】

- OS：Windows10/11
- メモリ：4GB以上
- ハードディスク：4GB以上の空き容量



弊社の地図帳に掲載されている世界地図、日本地図、日本の都市図を、国名や河川などレイヤーを切り替えながら表示することができるデジタル地図帳です。

基本画面の紹介

- 地図全域表示
- 拡大
- 縮小
- 都市にジャンプ
- 自然地名にジャンプ
- フルスクリーン
- モノクロ
- 凡例表示



- 描画：フリーハンド
- 描画：直線
- 描画：円
- 描画：四角
- 描画の色変更
- 描画の線幅変更
- 描画の透過率変更
- 削除
- 画像保存
- 印刷

収録地域

世界	日本	日本の都市
世界の国々	日本の位置	東京中心部
世界の地形	日本列島北部	横浜中心部
東アジア	日本列島南部	名古屋中心部
中国東部	南西諸島	大阪中心部
東南・南アジア	九州	
南アジア	中国	関東
ヨーロッパ中央部	四国	関東中央部
中央アメリカ	近畿	東北
南アメリカ	近畿・中京	北海道
オセアニア		中部
太平洋・インド洋		
大西洋 北極・南極		

自然地理アニメーション

2022年5月末 完成

DVD-ROM提供 収録アニメーション動画27点 定価：19,800円(税込)

大地形や小地形の形成、液状化や河川の氾濫、大気循環やフェーン現象など、自然環境の分野には教科書の模式図だけでは理解が難しい現象が多くみられます。自然地理アニメーションでは、地形の形成の推移や気候のしくみを動画でシンプルに示すことで、視覚を通し直接的に理解を促します。



収録アニメーション

- 各アニメーションは1～2分。途中停止や場面選択が可能です。
- 動画の進行に合わせて解説字幕が入ります。

現象のしくみや形成の過程をわかりやすくアニメ化 全27点

プレートの動き・地殻変動と火山活動

- プレートの境界のタイプ
- 日本周辺のせばまる境界
- ホットスポットのしくみ
- 褶曲のしくみ
- 断層のしくみ
- 火山のタイプ
- カルデラの形成

河川がつくる地形

- V字谷の形成
- 河岸段丘の形成
- 扇状地の形成
- 三日月湖の形成
- 自然堤防の形成
- 三角州の形成

海岸で見られる地形

- 海岸段丘の形成
- 砂州の形成
- リアス海岸の形成

自然災害

- 津波のしくみ
- 液状化現象
- 河川の氾濫

気候のしくみ

- 地球の自転・公転
- コリオリの力
- 大気の大循環
- 海洋の大循環
- フェーン現象

さまざまな地形

- U字谷の形成
- サンゴ礁の形成
- 鍾乳洞の形成

こちらもオススメ

山川&二宮ICTライブラリ

歴史・地理の教育コンテンツをオンラインで提供するための新しいサービスです。歴史総合/地理総合に対応したコンテンツを随時追加しています。歴史の山川出版社と地理の二宮書店が、ICTを活用した授業をサポートいたします。



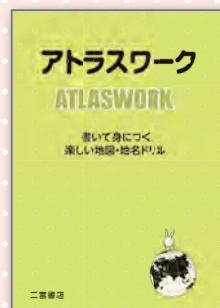
- 授業準備の時間短縮に
- プリントや試験問題の作成に
- ICT教育を促進
- オンライン授業にも対応

サービスについてのお問い合わせは①学校名 ②先生名 ③お電話番号 ④メールアドレスを明記の上、上記サイトの〈サービスについてのお問い合わせ〉からご連絡ください。

アクセスはこちらから <https://ywll.jp/service>



- 法人向け定額制コース
¥77,000/年(税込)
- 個人向け定額制コース
¥1,320/月(税込)



アトラスワーク

B5判・48頁(別冊解答付)
定価：440円(税込)

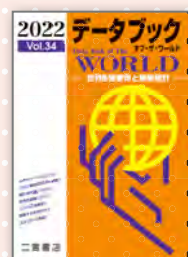
地図帳を見ながら地名を解答欄に記入することにより、世界旅行感覚で高校生に必要な地名や地図の基本が楽しく身につくワークブックです。



白地図ワーク

B5判・56頁(別冊解答付)
定価：462円(税込)

「地理的な見方・考え方」を養うことができるテーマや設問を豊富に取り入れた白地図です。日々の授業の補完だけでなく、受験のための学習にも活用できる作業形式を取り入れました。



データブック オブ・ザ・ワールド 2022年版 Vol.34

A5判・496頁
定価：770円(税込)

自然環境・産業・貿易・経済など、多くの分野を網羅した「統計要覧」と、全独立国の情報を網羅した「世界各国要覧」の二部構成。国際理解の調べ学習に必携の書。



地理統計要覧 2022年版 Vol.62

A5判・160頁
定価：440円(税込)

最新データをもとに整理・分類した統計書のロングセラー。コンパクトな体裁ながら、多くの分野について莫大な情報を掲載。検索しやすい分野別構成。変動する世界を統計で映し出す。

年間指導計画 作成資料

弊社ウェブサイトと同内容のExcelファイルを用意しています。
ダウンロードしてご利用ください。



学習の到達目標	<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などへの理解 地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能の習得</p> <p>(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする。</p> <p>(3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深める。</p>
---------	--

※ この年間指導計画では、年間授業時数を35週(35×2=全70時間)とし、学校の行事などを考慮して65時間と設定した。
2学期/3学期制を考慮して、それぞれの指導計画を提示している。

使用教材	<p>教科書：「わたしたちの地理総合」[基本地図帳] 副教材：「わたしたちの地理総合ワークブック」[アトラスワークブック]</p>
------	---

年間指導計画例

学期	3学期制	2学期制	月	授業時数	章	学習項目(節・項目)	学習内容とねらい	配当		考査	
								節配	時配	範囲	範囲
1学期	26		4月	5	1章 地図とGISの活用	1節 球面上の世界 1.2 球面上での生活 3 世界地図でとらえる地球	球体としての地球、時差と生活、おもな図法による世界地図、地図の表現を理解する。球面上の正しい方位や時差、図法によって異なる世界地図の特色を理解し、以降の学習の基盤を築くとともに、日常生活で活用する力を身につける。	3	1学期 前期中間		
						2節 国家の領域と領土問題 1 国家の領域と海洋の役割 2 日本の位置と領土問題	国家の3要素や国境のなりたち、領域における海洋の役割、日本と周辺諸国との間の領有権問題について理解する。国境や領土問題が国際関係、人々の生活におよぼす影響を考察する。	2			
						3節 国内や国家間の結びつき 1 国家をこえた結びつき 2 観光による結びつき 3 交通・通信による結びつき 4 貿易・物流による結びつき	外国で暮らす日本人を題材として、日本と諸外国との関係を理解する。国家間の結びつきを地域経済圏や国際連合を通して考察する。観光、交通・通信、貿易・物流の視点から、人や物・資本・サービス、情報の国際的な移動のようすを理解する。さまざまな統計地図や統計資料を分析し、表現する地理的技能を養う。	4			
						4節 日常生活のさまざまな地図 1 身の回りにあるさまざまな地図 2 地理情報システムのしくみと使い方	身の回りにある地図を題材にして、地図を用いた情報伝達の方法を習得する。地理情報の電子化について学習し、紙の地形図と電子地形図の違いや用途を理解し、活用する。地球儀ソフトや地理院地図などのGISソフトウェアを利用して地理空間情報を扱い、表現する技能を養う。	2			
前期	32		6月	8	2章 生活文化の多様性と国際理解	1節 自然環境と生活文化 1 地球上の地形のなりたち 2.3 山地と平野/海岸部の生活 4 地球上の気候のなりたち 5 暑い気候 アフリカ 6 乾燥した気候 サウジアラビア・モンゴル 7 季節の違い 大陸の西岸と東岸 8 寒冷な気候 シベリア	世界的な視野から地球上の起伏の分布がプレートテクトニクスにもとづくプレート境界と関連していることを捉える。また、河川がつくる地形や海岸部の地形、それらの地形を活かした暮らしの特徴を学習し、写真や地形図によって具体的に読み取り、考察する技能を身につける。 世界的な視野から大気が循環する仕組みを捉え、日射のほか地形分布や海流などからも影響を受けて気候の地域性が生まれることを理解する。世界の各気候帯の自然環境の特色、人々の暮らしと工夫について、写真や雨温図、分布図などの資料から考察する。	8	1学期 期末		
						2節 産業の発展と生活文化 1 農業の地域性 2 農業 南アジア 3 工業の地域性 4.5 経済成長 中国 6.7 工業化 タイ・ベトナム	世界の農業・工業・第3次産業の特徴と生活文化との関連性を捉え、その地理的環境や歴史的背景を理解する。また、アジア各地の事例地域の学習を通して、経済活動の国内・国際的な発展と、グローバル化による生活文化の変容を動的に捉え、主題図や写真などの資料を通して考察する。	7			
						3節 言語・宗教と生活文化 1 世界の言語 2 世界の宗教 3 仏教圏の生活文化 4 キリスト教圏の生活文化 5.6 イスラム圏の生活文化 7 世界の多民族・多文化社会 8 社会の形成 ラテンアメリカ 9 多文化社会 オーストラリア	世界の言語・宗教の特徴と分布、生活文化との関係を考え、その地理的環境や歴史的背景から地域的特色を理解する。また、現代社会における言語・宗教の変容を動的に捉え、主題図や写真などの資料から考察する。世界の少数民族や少数民族言語、宗教対立、移民・難民などの現代社会の諸課題を理解し、互いに多様な文化を尊重する多文化共生社会の実現方法について議論し、考察する。	9			

2学期	23		10月	6	2章	4節 グローバル化の進展と生活文化 1～3 地域統合 EU 4～6 グローバル化 アメリカ	EUの統合による産業や生活文化への影響、そして統合によって生じている経済格差や移民問題などの諸課題を理解し、ヨーロッパ各国の国家としての在り方の変容、EUと日本のつながりについて考察する。 アメリカ合衆国建国時から多様性を育んできた地理的環境・歴史的背景を理解し、グローバル社会で世界をリードする産業の発展と企業の国際化の過程を捉え、アメリカ合衆国の変容、日本とのつながりについて考察する。	6	1学期 後期中間		
			11月	6		1節 人口・食料問題 1 世界の人口問題 2 人口増加 中国とインド 3 人口停滞 スウェーデンと日本 4 世界の食料問題 5 人口増加と食料問題 アフリカ	世界人口の急増によって生じる問題を世界的視野から理解し、人口ピラミッドや主題図などの資料から問題の所在と解決のための取り組みを考察する。また、人口急増国だけでなく人口停滞国の事例を通して、各国の人口政策や諸問題について比較し、理解を深める。持続可能な発展のために、飢餓や飢饉などの食料問題と人口問題を関連させて理解する。その際、モノカルチャー経済や気候変動などの背景的要因も捉えながら、グローバル・ローカルな視点から解決方法を構想する。	5			
			12月	5		2節 居住・都市問題 1 世界の居住・都市問題 2 大都市 ロンドン・ニューヨーク 3 密集都市 メキシコシティ・ジャカルタ	都市に人口が集中する要因を主題図や統計資料から読み取るとともに、人口集中によって引き起こされる都市問題についても写真などから判読する。また、途上国と先進国では異なる都市問題が発生していることを理解し、その構造的要因を考察する。都市問題を解決するための都市政策や科学技術の事例に触れながら、解決の方策を構想する。	3			
3学期	16		後期	33	3章 地球的課題と国際協力	1節 資源・エネルギー問題 1 世界の資源・エネルギー 2 エネルギー資源の生産・消費と課題 3 再生可能なエネルギーへの移行 4 鉱産資源 ロシア・オーストラリア・日本	エネルギー資源の変化を世界的な視野から概観し、主題図や統計資料をもとに資源の偏在性、有限性、そして消費における地域格差などの諸課題を読み取る。エネルギー資源の持続可能な利活用と安定供給を実現するために、化石燃料や再生可能エネルギーのメリットやデメリットを比較し、国際協力の必要性、日本とのつながりについて考察する。	4	1学期 後期末		
			2月	8		4節 地球環境問題 1 地球温暖化の現状と将来 2 熱帯林の減少 アマゾン・東南アジア 3 砂漠化の進行 アラル海	地球温暖化・熱帯林減少・砂漠化など、地球規模でおこっている環境問題の仕組みを構造的に理解する。地球環境を守り持続可能な発展を実現するためには、国際的な協力体制が必要だけでなく、その背後にある政治・経済的な課題解決も求められることを考察する。また、環境問題と自分自身とのつながりを意識し、SDGsの因果関係も捉えながら具体的な取り組みを構想する。	3			
			3月	4		1節 自然環境と防災 1 日本の地形・気候と生活 2～4 風水害/火山/地震・津波と防災 5 都市型災害と防災 6 防災・減災への心構え	日本列島の地形や気候のなりたちと多様性について、主題図やグラフ、写真などの資料から理解する。また、日本列島では自然による恩恵だけでなく、風水害、火山、地震・津波、都市型災害などが発生することを世界的な視野から捉え、その要因と特徴、災害の地域性、防災や減災への取り組みや課題を考察する。新旧地形図やハザードマップなどを活用し、自らの生活圏の防災について考察し、表現する技能を身につける。	5			
			3月	4	4章 生活圏の諸課題	2節 持続可能な地域づくり 1 地域調査の実施手順と方法 2～4 地域調査 軽井沢	生活圏の課題を解決するための手法としての地域調査を実施し、身近な地域の魅力やかかえている課題を見だし、調査を踏まえてその解決策を考察する。地域調査の一連の手順を理解し、景観観察やアンケート・聞き取り調査など、さまざまな調査方法を活用する。調査結果や統計ツール、新旧地形図やデジタル地図、各種資料などによって得られた情報を多角的な視点から主題図やグラフにまとめ、将来に向けた地域のあり方を構想する。	4	2学期 後期末(学年末)		

※ 4章1節の5と6を合わせて1時間と設定しています。

評価規準

弊社ウェブサイト
同内容のExcel形式の
データを用意してい
ます。ダウンロードし
てご利用ください。



編	章	節	評 価		の 規 準		評 価 方 法
			知識・技能【A】		思考・判断・表現【B】	主体的に学習に取り組む態度【C】	
		科目全体の評価の観点の趣旨	知識：地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解する。 技能：地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。		地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深める。	
1章	地図とGISの活用	1節 球面上の世界	1.2 球面上での生活 3 世界地図でとらえる地球	●地球を球面として捉え、球面上の位置・方位・距離について正しく認識し、季節・気候を生み出すことを理解している。 ●さまざまな図法で描かれた世界地図の特徴を理解している。 ●時差の仕組みを理解し、世界の2地点間の時差を求めることができる。	●球体である地球上での位置・方位・距離を正しく読み取ることができる。 ●時差のしくみをふまえ、時差を示す世界地図を適切に活用することができる。 ●世界地図の図法の特徴を比較し、それぞれの特徴に適した用途があることを説明することができる。	●球体としての地球を把握し、さまざまな図法による世界地図の理解に向けて、作業などに意欲的に取り組もうとしている。 ●時差が日常生活や経済活動に与える影響を自ら調べようとしている。	確認テスト【A】 定期考査【A B】 作図・読図課題【A B】 観察評価・提出物【A B C】
		2節 国家の領域と領土問題	1 国家の領域と海洋の役割 2 日本の位置と領土問題	●国家の領域に関する知識を身につけ、海洋の役割、領土問題について理解している。 ●日本の位置と領域、領土問題について理解している。	●日本の位置と領域について世界的視野から捉え、日本の領域をめぐる問題を考察し、まとめることができる。	●地域や国家間の結びつき、日本の領域に関する諸問題について、興味・関心を持って授業に臨もうとしている。 ●世界の自然的国境や人為的国境を調べ、自ら白地図にまとめている。 ●海洋国家である日本のメリット・デメリットを整理し、日本の未来像について自ら考察し、発表しようとしている。	作業・提出物例 時差の計算演習 主題図の作成 デジタル地図を活用した資料作成
		3節 国内や国家間の結びつき	1 国家をこえた結びつき 2 観光による結びつき 3 交通・通信による結びつき 4 貿易・物流による結びつき	●統計数値を用いて適切な主題図を作成することができる。 ●外国で暮らす日本人や歴史的背景を通して、日本と諸外国との関係を理解している。 ●世界の地域経済圏や国際連合に関する知識を身につけ、地球規模の地域的な結びつきについて理解している。 ●交通・通信・観光・貿易・物流を通じた外国との結びつきの特徴や変化を捉え、日本と世界各国の結びつきを理解している。	●複数の主題図を比較し、主題によって、表現方法が異なることを説明することができる。 ●国家間のつながりに影響する事象について目的別に整理し、さらに世界の地域経済圏や国際連合の視点から国際関係を整理・考察することができる。 ●外国に暮らす日本人や外国人観光客の実例を通して、社会への影響や今後の発展について分析・考察し、まとめようとしている。 ●交通や通信の発達による変化について分析し、国家間・地域間の格差について考察している。	●国内や国家間のつながりに影響する事象について、自ら視点を設定して、多面的に考察しようとしている。 ●模擬国連では、担当国の大使として意欲的に活動に参加している。 ●階級区分図などの統計地図を自ら課題を設定して作成し、多面的・多角的に考察しようとしている。 ●交通や通信の発達、観光政策、世界貿易に関する地球規模の課題について多面的・多角的に考察し、自分なりの意見をまとめようとしている。	
		4節 日常生活のさまざまな地図	1 身の回りにあるさまざまな地図 2 地理情報システム(GIS)のしくみと使い方 フォトマップ> 自分のまちのフォトマップをつくる	●さまざまな地図に関する基本的な知識を身につけ、日常生活における地図利用の有効性を理解し、活用することができる。 ●地図や地理情報システムなどを用いて、地理空間情報の役割や有用性について理解し、地図化することができる。	●さまざまな地図や地理情報システムの特性を理解し、使用目的に応じて適切に表現している。 ●地理情報の電子化について学習し、紙の地形図と電子地形図の違いを考慮することができる。	●身の回りのさまざまな地図に興味を持ち、積極的に活用しようとする。 ●地図や地球儀ソフトを用いた作業学習に積極的に取り組み、自ら課題を設定して完成させている。 ●地理情報の活用事例について、自ら調べることができる。	
2章	生活文化の多様性と国際理解	1節 自然環境と生活文化	1 地球上の地形のなりたち 2.3 山地と平野/海岸部の生活 4 地球上の気候のなりたち 5 暑い気候 アフリカ 6 乾燥した気候 サウジアラビア・モンゴル 7 季節の違い 大陸の西岸と東岸 8 寒冷な気候 シベリア フォトランゲージ> 自然環境への住居の工夫の読み取り	●地形や気候のなりたちに関する知識を身につけ、それぞれの地理的事象について世界的な視野から読み取ることができる。 ●ケッペンの気候区分と植生分布の関連性を理解し、自然環境が人々の生活文化や産業、伝統の形成などに深く関わり、また諸要素が相互に関連しあっていることを理解している。 ●地形図から等高線や地図記号などの情報を読み取り、地形の特徴や土地利用を捉えることができる。 ●地形や気候などの特徴を、雨温図や主題図、写真などから読み取ることができる。	●地形や気候のなりたちについて、プレートテクトニクスや大気大循環、海洋分布などと関連づけながら、その成因と分布の特徴を世界的視野から考察できる。 ●ケッペンの気候区分から各気候分布の規則性を捉え、生活文化との関連性を比較しながら共通点や相違点を考察し、整理して表現することができる。 ●地形を活かした人々の暮らしの特徴について写真や地形図などから捉え、地形と生活文化との関連を考察できる。 ●地形や気候などの自然環境と人々の生活文化の関係性について、雨温図や主題図、写真など複数の資料を関連させながら説明することができる。	●世界の地形・気候のなりたちと生活文化・産業との関わりについて、興味・関心を持って授業に臨んでいる。 ●地形を活かした人々の暮らしの学習を通して、我が国の国土に関する諸課題を自分事として捉え、主体的に学ぼうとしている。 ●地形図や雨温図、主題図、写真、グラフ、統計資料などを理解するだけでなく、自ら表現することに意欲的に取り組んでいる。 ●雨温図の作図やフォトランゲージのパフォーマンス課題に積極的に取り組んでいる。	確認テスト【A】 定期考査【A B】 作図・読図課題【A B】 観察評価・提出物【A B C】 提出物例 世界の自然環境に関する白地図、地形図作業、雨温図・ハイサーグラフ作成
		2節 産業の発展と生活文化	1 農業の地域性 2 農業 南アジア 3 工業の地域性 4.5 経済成長 中国 6.7 工業化 タイ・ベトナム 統計の読み取り> 産業構造から国の経済を考える	●世界の産業の特徴を捉え、分布や変化を概観することができる。 ●アジア各地の事例地域の学習を通して主題図や写真、グラフなどの資料から経済活動の発展を読み取ることができる。	●世界の産業の特徴を地域ごとに比較し、自然環境や生活文化との関連性を考察している。 ●アジア各地の事例地域の学習を通して、経済活動の発展とグローバル化を複数の資料から動的に捉え、立地なども関連させながら多角的に考察し、まとめることができる。	●身近な商品がグローバル化の進む産業構造の中に位置づけられることを捉え、産業と自分との関わりについて意欲的に探究しようとしている。 ●複雑化する世界規模の産業構造を捉えようと試み、複数の資料から主体的に考察し、発表している。	確認テスト【A】 定期考査【A B】 作図・読図課題【A B】 観察評価・提出物【A B C】
		3節 言語・宗教と生活文化	1 世界の言語 2 世界の宗教 3 仏教圏の生活文化 4 キリスト教圏の生活文化 5.6 イスラム圏の生活文化 7 世界の多民族・多文化社会 8 社会の形成 ラテンアメリカ 9 多文化社会 オーストラリア ケーススタディ> 外国人の人々との交流を考える	●世界の言語・宗教の特徴を理解し、生活文化との関係を読み取ることができる。 ●世界の言語や宗教、民族に関わる現代社会の諸課題の背景や現状を概観することができる。 ●現代世界における言語・宗教の変容について、主題図や写真などの資料から読み取ることができる。 ●世界の多様性と日本とのつながりを考え、異文化を尊重する態度が重要であることを理解できる。	●世界の言語・宗教の空間的な分布とその要因を考察し、自然環境や歴史的背景と関連させて考察している。 ●世界の言語や宗教、民族に関わる現代世界の諸課題がおこっている複雑な背景を構造的に認識することができる。 ●現代世界における言語・宗教について、グローバル化や情報化によって変容している部分と変容していない部分を比較している。 ●多文化共生社会に向けた事例について整理・考察し、まとめている。	●世界の言語・宗教の多様性と生活文化の関わりについて、興味・関心を持って積極的に調べようとしている。 ●世界の言語や宗教、民族に関わる現代世界の諸課題について、日本との関わりも考えながら主体的に捉えている。 ●教科書以外のさまざまな資料も用いながら、主体的に世界の言語や宗教について、主体的に理解を深めようとしている。 ●多文化共生社会の実現方法について議論し、自分の意見をまとめている。	確認テスト【A】 定期考査【A B】 作図・読図課題【A B】 観察評価・提出物【A B C】
		4節 グローバル化の進展と生活文化	1～3 地域統合 EU 4～6 グローバル化 アメリカ プレゼンテーション> 市場分析と新製品の企画	●EU統合の背景と産業や生活文化への影響、統合によって生じている経済格差や移民問題などの諸課題を理解している。 ●アメリカ建国時から多様性を育んできた地理的環境・歴史的背景を理解している。 ●地域統合やグローバル化による成長と課題、生活文化の変容について、主題図や写真などの資料から読み取ることができる。	●ヨーロッパ各国の国家としてのあり方の変容、EUと日本のつながりからグローバル化の功罪について考察している。 ●グローバル社会で世界をリードする産業の発展と企業の国際化の過程を捉え、アメリカの変容、日本とのつながりについて考察し、まとめている。 ●地域統合やグローバル化について、主題図や写真などの複数の資料を関連させて多面的に考察している。	●EUやアメリカの事例を通して、地域統合やグローバル化の課題について主体的に考察しようとしている。 ●グローバル化が自分の生活と繋がっていることを踏まえて、グローバル社会に対する自分なりの意見を持とうとしている。 ●地域統合やグローバル化に関するさまざまな資料を自ら収集・整理し、多面的に考察している。	確認テスト【A】 定期考査【A B】 作図・読図課題【A B】 観察評価・提出物【A B C】
				●2章4節の学習をふまえ、オリジナルラーメンの新製品を売り出すというシミュレーション学習に主体的に取り組んでいる。また、自らさまざまな資料を収集・整理し、売り出す国やターゲット層、コンセプト、セールスポイントなどについて具体的にまとめようとしている。		パフォーマンス評価 (ルーブリック)	

※本頁に掲載していない3章、4章はウェブサイトをご参照ください。

観点	内容の特徴
内容の選択・程度 学習指導要領の教科の目標に沿った内容編成 必修科目として基本・基礎的な知識・技能の習得	<ul style="list-style-type: none"> すべての高校生が履修する地理総合として、教科の目標を達成し、地理歴史科学学習の基礎となる知識・技能を過不足なく学ぶことができるよう、全体が編成されている。 日本の領域について、北方領土、竹島、尖閣諸島といった領土に関する課題について適切に取り上げるとともに、海洋国家としての日本の位置づけを理解できるように配慮されている。 世界を大観する系統的学習と、地域の現状や課題を具体的に捉える学習を適切に編成することにより、現代世界や地球的課題の現状についての理解を深める編成になっている。 日本の自然環境の特色と風水害、火山噴火、地震・津波などの自然災害について体系的に記述し、また地域調査についての汎用的な事例を示すことにより、学校の地域特性に応じやすい編成になっている。
組織・配列・分量 内容の構成・配列の適正 学習意欲を高める構成	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の項目に沿って、標準的な授業時数で完結するように構成されており、基礎から段階的に知識・技能を習得することができるよう、配慮されている。 中学社会科の地理的分野で学習したことを踏まえ、知識・技能の両面で学習内容を発展・深化させた構成になっており、中高接続への配慮がなされている。 各節を「導入」「授業ページ」「アクティビティ」に編成している。「導入」では生徒の興味関心を喚起し、「アクティビティ」では、個人やグループ活動を通じ、主体的に考え、判断・表現する力を培う。 教科書を全66テーマで編成。一つのテーマ(1授業時)が、「学習のテーマ」「導入の問いかけ」「本文」「まとめよう」の流れになるよう標準化し、授業を進めやすく、アレンジしやすい構成になっている。
表記・表現及び指導に 対する工夫や配慮 用語や解説の取り上げ方 図や写真の取り上げ方 指導資料やデジタル教材の充実	<ul style="list-style-type: none"> AB判の紙面を利用し、大きな図版・写真や欄外を積極的に活用。自然環境や人々の生活文化のようすをリアルに読み取ることができる。 平易な表現で本文を記載するとともに、重要用語を太字で示し、関連箇所への参照ページを明記している。用語も精選されており、必要に応じて用語解説を欄外に記載するなど工夫がなされている。 二次元コードでウェブサイトを参照させたり、地球儀ソフトによる経緯度検索を可能にするなど、生徒の主体的な学習に対応している。 生徒用のデジタル教科書や準拠版ワークブック、教師用の指導書やICTライブラリなど、周辺教材が整備されており、教科書との組み合わせで、より効果的に指導することができる。
印刷・造本上の 配慮 ユニバーサルデザインへの配慮 環境への配慮と印刷の鮮明さ	<ul style="list-style-type: none"> カラーユニバーサルデザイン(CUD)に配慮した色づかいであり、可読性の高いUDフォントを使用しているため、多くの生徒にとって読みやすい紙面になっている。 植物油インクや再生紙を使用しており、地球環境や限りある資源に配慮し、SDGs(持続可能な開発目標)に貢献している。 発色がよく鉛筆やペンで書き込みのしやすい用紙を使用しており、写真や図版も解像度が高く鮮明で、製本も堅牢である。
総合所見	<ul style="list-style-type: none"> 国際社会や日本でおきている事例を適切に取り上げ、編成したことにより、より具体的に現代世界を捉え、次世代の社会づくりを担う人材の育成に寄与している。 アクティビティや問いかけを積極的に導入したことにより、生徒の学習意欲を喚起し、参加型授業を実現しやすい構成になっている。 2単位の必修科目として内容・程度・分量のバランスが取られており、指導しやすく、生徒自らも理解しやすい教科書となっている。

令和5(2023)年度用 二宮書店 教科書・地図帳 ラインナップ



130 二宮 地総705
わたしたちの地理総合
世界から日本へ
AB判・214頁
ビジュアルにアクティブに世界と日本の今を知る66テーマ
主題型授業をリードする教科書



130 二宮 地総704
地理総合
世界に学び地域へつなぐ
B5判・246頁
基礎から大学入試まで豊富な題材と鮮度ある情報
地理探究へつながる、事例の充実した教科書



130 二宮 地探703
地理探究
B5判・326頁
大学入学共通テストに対応
詳しい内容で理解を深める
地理探究の決定版



130 二宮 地図704
高等地図帳
B5判・166頁
収録数の多い世界地図と日本地図



130 二宮 地図705
詳解現代地図
最新版
AB判・182頁
350タイトル以上の豊富な資料図



130 二宮 地図706
基本地図帳
A4判・166頁
ビジュアル中心で大きな地図



130 二宮 地図707
コンパクト地理総合地図
A5変形判・182頁
新しい判型で地理総合対応の地図